

H A P P I N E S S I S M U S I C



RAY CONNIFF



HIS SINGERS

A KYODO, TOKYO PRESENTATION 1975

DDプレイヤー 静かな頑固者

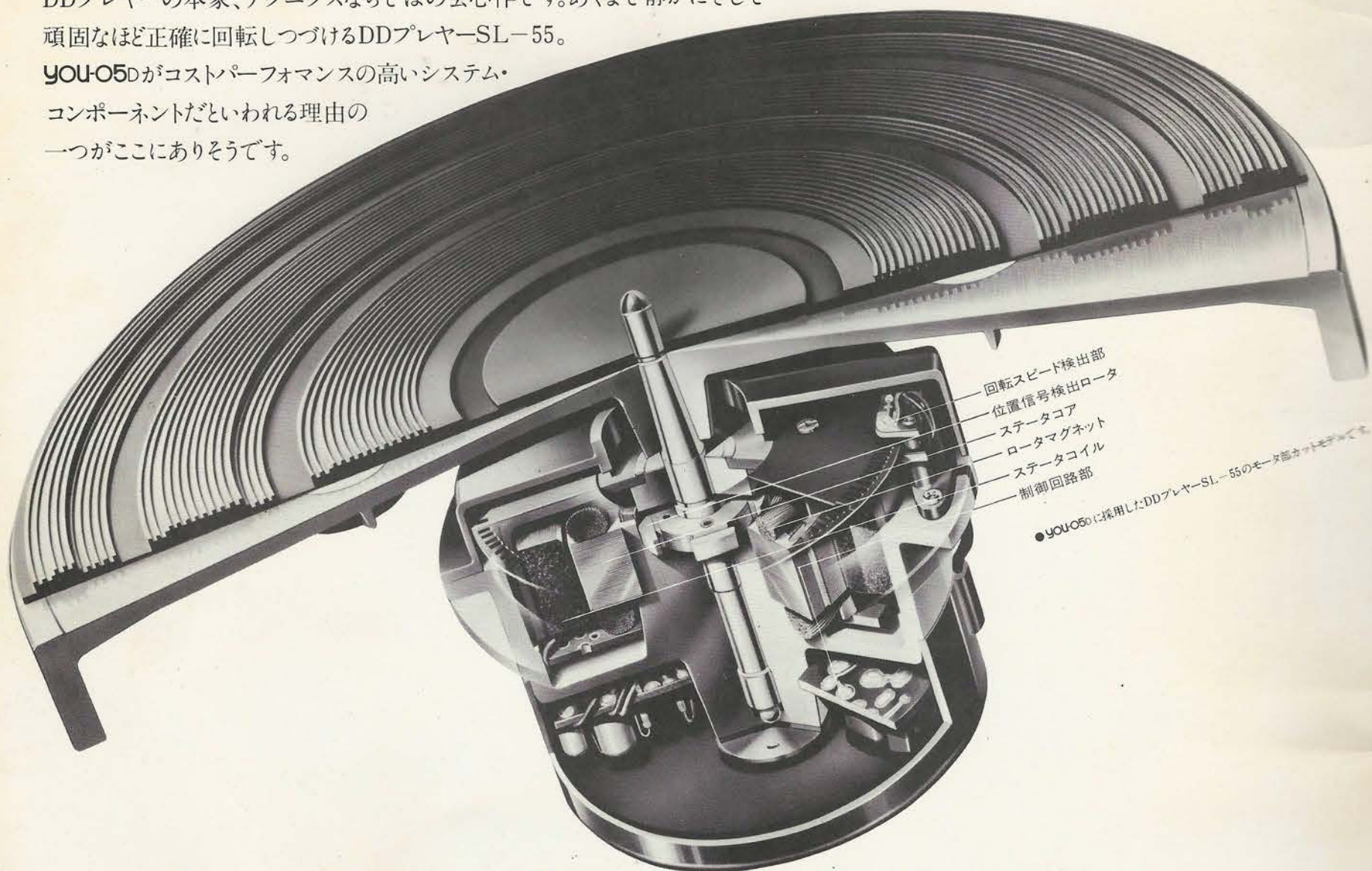
回転の正確さと静粛さ、——ターンテーブルに求められる厳しい条件を満足させる、SN比60dB、ワウ・フラッタ0.03%の基本性能に、まずご注目ください。そして次に、この価格に——。

DDプレイヤーの本家、テクニクスならではの会心作です。あくまで静かにそして頑固なほど正確に回転しつづけるDDプレイヤーSL-55。

YOU-O5Dがコストパフォーマンスの高いシステム・

コンポーネントだといわれる理由の

一つがここにありそうです。



高性能DDプレイヤー●SL-55

正確な回転に、ひずみのないカートリッジ——
レコードの信号をたがわず取りだすDDプレイヤー。

音質最重視設計のチューナ●ST-3050

レコードと並び大切なソース…FMステレオ放送の
楽しさがグンと増す、音質のすばらしいチューナ。

歪のすくないアンプ●SU-3050

システムの心臓部はなんといっても、ソースを色づ
けなく増幅してスピーカを駆動する高性能アンプ。

スピーカも音質重視●SB-3003

システムの音を決定されるといわれるスピーカには
もちろん高能率の2ウェイバスレフ形。

YOU-O5D…合計 159,800円

DDプレイヤーSL-55……………標準価格 42,800円

FM/AMチューナST-3050…標準価格 33,800円

プリ・メインアンプSU-3050…標準価格 36,800円

スピーカSB-3003×2……………標準価格 23,200円×2

別売

オーディオラックSH-818-W…標準価格 15,500円

カセットデッキRS-610U……………標準価格 46,900円

ユーオーファイブデー

YOU-O5D

YOU-O5Dは、システム・コンポーネントの一例です。
●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほ
かは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。



Technics



レイ・コニフ・シンガーズ
1975公演スケジュール

6月10日(火)6時45分
東京新宿・厚生年金ホール
主催＝TBSラジオ

6月11日(水)6時30分
東京新宿・厚生年金ホール
主催＝東京音協

6月12日(木)6時30分
名古屋市民会館
主催＝CBC中部日本放送

6月13日(金)7時
福岡市民会館
主催＝FM福岡

6月15日(日)6時30分
大阪フェスティバルホール
主催＝FM大阪

6月17日(火)6時45分
東京・中野サンプラザホール
主催＝TBSラジオ

6月18日(水)6時45分
東京・中野サンプラザホール
主催＝TBSラジオ

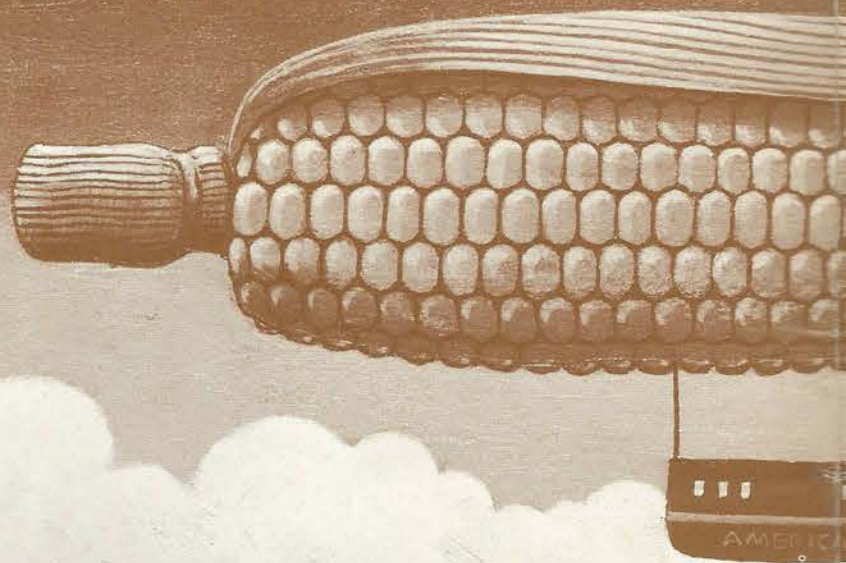
6月19日(木)6時45分
東京・中野サンプラザホール
主催＝TBSラジオ

6月20日(金)7時
横浜・神奈川県民ホール
主催＝ラジオ関東

レイ・コニフからファンの皆様へ

このたび、はじめて日本をツアーするにあたり、私たちシンガーズ、そして私自身、感激とともに興奮をおさえることができません。なぜならば、私たちの歌を日頃、レコードで聴いてくださる皆様とより近いふれあいの機会が与えられるからです。いままで私たちの音楽を支えてくれた皆様に感謝すると同時に、皆様の好きな曲をより多くお聴かせしたいと思います。今宵はほんとうに有難うございます。

RAY CONNIFF
HIS SINGERS



レイ・コニフは「ハピネスは音楽である」という。「音楽はハピネス」ではない。彼にとって音楽は至上のもの、生命のみなもと、みごとに調和の結晶である。だから、彼が一番大切なものは家族、一番幸福な時は、コンサートやレコーディングを終えて家族と一緒に過ごす時だというとき、その最高のハピネスを音楽にたとえているのも当然であるといえよう。

しかし一般のアメリカ人にとって、ハピネスとは何であろうか。ハピネスを求める心は民族を問わない、時代を問わない。人間なら誰でも幸福を求めるのは当たり前である。

日本だってその例にもれない。しかし、最近の日本人は、年長者の意地悪な見方かもしれないが、その幸福の求め方がいささか自分本位になってきているように思われてならない。たとえば、結婚の披露宴のさいごに、世界は二人のためにあるの、という佐良直美が誰かの歌を大勢で合唱するのを、何度も見ているが、全く当の二人にとっては、現在の世界は彼と彼女の二人を中心にまわり、動いていると思うのは楽しい実感であろうが、すこしサメた目でながめると、何というひとりよ

がりの考え方だろうと批判したくなることがたびたびある。幸福とは果してこういう閉鎖的なマイホーム主義であってもいいものだろうか。

だからといって、アメリカ人の幸福観が、自己中心的でなく、つねに他人のための思い人類全体を考えているというのではない。同じ人間である以上、どうしても自分を中心に考えたいのは当然であろう。

芥川竜之介との関係や、最近の翻訳などで日本でも割に知られているアメリカ人作家アンブロス・ピアスの有名な「悪魔の辞典」にのっている定義を紹介してみよう。

「ハピネス。名詞。他人の不幸を考えると湧いてくる嬉しい感情」

息子の一人が恋愛事件で自殺したり、もう一人が決斗で倒れたとき、その斗い方が気に入らないとって、死体を焼いた骨の一部をガラスの壺にに入れて、机の上に置いておき、毎日ののしっていたというような冷笑的に人生を眺めていた男の言葉とあれば、この定義もなるほどと思われる。日本だって、サラリーマンの一番楽しみは、上役の悪口をいいながら酒をのむときだということを知ることがあ

る。たしかに人間の心の奥には、人の不幸をよるこぶ陰湿な、悪魔のような気持のひそんでいることは、たしかのようだ。しかし、こういうどろどろした暖い気持が必ず人間の心の底にあって、その人に暗いよるこぶを与え、幸福感にまで高まっていくというのはいすぎのようである。

ハピネスというのは、そういう暗さを一掃した、向日葵（ひまわり）のようにたえず太陽の方に顔を向けている明るいものでなければならない。

人間の心にも陰と陽の要素があるとすれば、陰の部分の打ち消した陽の傾向が幸福につながるであろう。

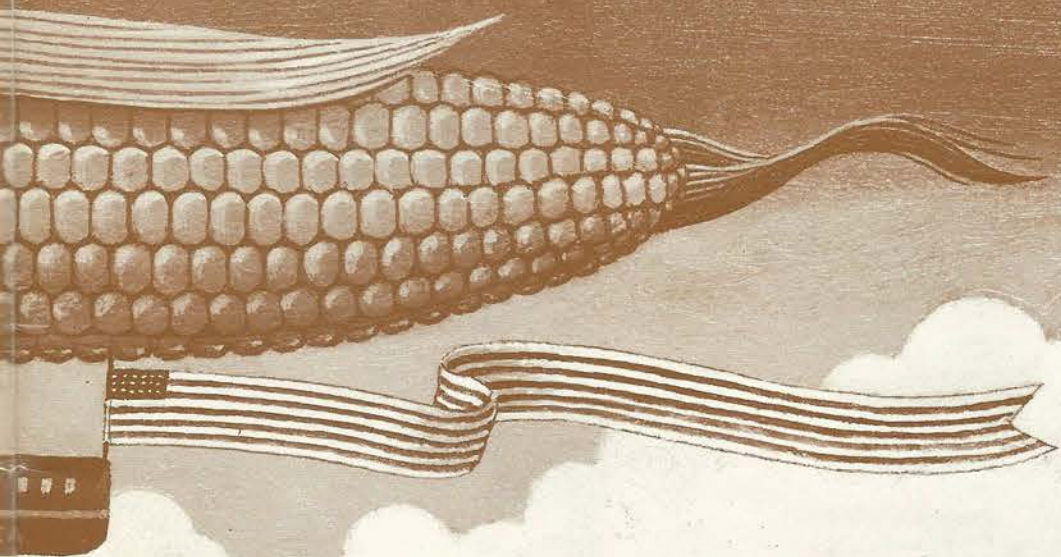
しかし、本当のハピネスは、切ないくらい仕合わせ、という言葉にもみられるように、哀切なものが裏にあってこそ、生きてくるようである。かつての悲しい経験のあとで、人一倍のはげしい苦難のあとでつかみとった仕合わせこそ本当の幸福というものであろう。

昨年の夏、久しぶりにアメリカをまわったときに見聞した二、三の例から、アメリカ人のハピネスを考えてみよう。

シアトルのホテルに泊ったとき、ばかに大

勢の聾啞者がロビーにいるのに驚いた。夜、食事のために、少し歩いて、市内一番のホテルに行ってみると、数百人の聾啞者が、ロビーに集まって、楽しそうに話し合っているではないか。話し合うといっても、言葉の不自由な人たちばかりであるから、手ぶりによる、ときに奇声を発しながらの話し合である。聞けば、全米聾啞者大会で、全国各地から代表者が集まってきているのだという。見るからに楽しそうで、異国の旅行者であるこちらまでかほのぼのとした明るい気分になってくる情景であった。遅くなって、もう一度そのホテルに行き、バーに立ち寄ってみると超満席で、お客は全部その大会の出席者ばかりであった。

二日後、シカゴに行き、大きなホテルに泊ったが、ここで驚きをまたあらたにした。シカゴは会議の都といわれるように、全国規模の会議がいつも開かれるところだが、私の泊ったホテルに全米盲人大会が開かれていたのである。はじめは、ホテルの中にどうしてこんなに犬がいるのだろうと不思議に思ったがそれはみな盲導犬であった。近くの街路を歩いても、人の手に引かれたり、盲導犬に引か



れたりする人たちがたくさん散歩していた。中には杖を頼りの人たちもいたが、そういう人たちが通りを横切ろうとしたり、何かにつまづいたりすると、通りすがりの人がすぐに駆けよって行って手を貸していた。

そういう光景を何回か目にして、私の感じたことは、日本だったら、こういう場合、どうだろうということだった。第一、こういう大会が有名な大ホテルで開かれることなどないだろう。集まった目の不自由な人たちが、こんなに正々堂々と、明るく、楽しそうにふるまうことはないだろう。また一般の市民が、こんなに彼らのために積極的に手を貸してくれるだろうか。お前だったらどうする？ そのときの反省がたいへんにかいものだったことを今も思いだす。日本の社会福祉が、政策として以前よりは数段の配慮がなされてきていることはよく聞いてきたが、いくら設備をよくしたり、施設をつくったりしても、それが体の不自由な人たちをハッピーにするとはかぎらない。まわりの市民があなたにかい気持で手をさしのべ、協力してやらなければ、本当の福祉にならないのだという理解が実感として体験できたと思った。

福祉の問題として、もう一つの例を紹介してみる。南部のアトランタ市に行ったときのことである。全国的な大きな組織の団体役員だった婦人が隠退して、避暑地避寒地としてはアメリカ第一のこのアトランタ市に最近生活されるようになったが、その婦人が空港に迎えに来てくれた。そして、アトランタに滞在しているあいだ、彼女と彼女の親友で大学教授のご主人を失われた未亡人の二人が交互にアメリカ最高の未来都市といわれるアトランタの市内と郊外を案内してくれた。そして一日、彼女たちの老人ホームに案内された。二種類のホームで、第一は長屋式に建てられた各戸建ての家である。一軒一軒がしよ酒な二階建てで、客室まである実に清潔な立派な家であった。ガレージはあるし、お料理はもちろん自分でしなければならない。

第二の老人ホームは、豪華なホテル式ともいべきもので、食堂、図書館、礼拝堂、病室などは共通で、散歩用の広い庭園もあった。またおのおの趣味を生かすための、たとえば編みものとか、花の採集とかのための広い作業場が庭に通じる地下に設けられていた。

私が案内までされ、ご馳走にまでなった老人

ホームは、たまたま隠退した婦人たちの専用の、たいへんぜいたくなものであったから、一般の市民たちの、もっとレベルの低い老人ホームがどんなものであるかは、不幸にして私には知識がない。したがって、私の経験した限られた特殊から一般論を引きだすのは行き過ぎかもしれないが、全く不当であるともいえないと思う。

私のいいたいのは、私が親切をうけたこのアトランタの婦人たちは、みずからハッピーであるといい、またわきから見てもハッピーそのものである。もちろん、意地悪な目で見れば、現在の彼女たちはボランティアの仕事こそしているが、生産的な仕事をしていないし、はだかてぶつかり合う伴侶もないから、幸福なのは表面の生活だけで、そのかげに一沫の寂しさを秘めているのではないかと思われるふしがないでもない。しかしそれは第三者の想像だけで、本人たちは本当に幸福をあげわっておられるのかもしれない。幸福そのものが、本質的に永続するものではなく、紙一重の裏に人間特有の悲しみをかくしておりまた裏がわの悲しみの故にこそ、表の幸福の意味がはっきりしてくる以上、彼女たちが長

い努力と苦勞の連続のあとによろやく自分のものにした幸福は本ものにちがいないと思うのである。むかしフランクリンがいった、人間の一生は幸福の追求で、それは他人と仲よくしていく技術をたえず学んでいくことによって得られる。という言葉の意味も、よくわかる。

努力のあとの満足感、まわりの人たちのあたたかい理解につつまれて自分の存在を主張できる立場、これがアメリカ人のハピネスの本質ではないだろうか。

オー・ヘンリーの小説になニューヨークの小市民の哀歎がよく描かれているが、主人公たちのあじわう幸福感は、いつもきまってる周囲の人たちに対する思いやりが前提となっている。アメリカ最大の女流詩人エミリー・デイキンソンが、

これがハピネスの力——

どんなに小さくとも1トンのものを持ちあげられる力こそ。

とうたっているのも、本当に幸福な人には無限の力が、それもほかの人たちの心を引きたて、はげましていく力がそなわっていることを言っているのであろう。

日曜日の朝なんかにも、いいのです。

朝妻一郎 Ichiro Asazuma (音楽評論家)

普通音楽には、その音楽を聞くのに最も適した時、とか状態、といったものがあります。たとえば、「この音楽は夜、1人でお酒でも飲みながら聞いたら最高にいいネ——」なんていうように。

しかし、レイ・コニフ・シンガーズの音楽にはそれがありません。

と、いうより、何時、どんな状態で聞いてもピッタリくるのが彼らの音楽なのです。

春の陽があたたかく照る、日曜日の朝、「ああ今日は日曜日だ！」と思いついてノンビリ

しながら、レイ・コニフ・シンガーズの「イエスタデイ・ワンス・モア」などを聞いていると、何ともゆったりとした気分が、心の中に生まれて、豊かな気分でその日曜日をすごすことができますし、恋人と別れた淋しい夜に、1人、部屋でレイ・コニフのレコードを聞けば、ガラガラしていた心も安らぎを憶えて、落ち着いた眠りに誘ってくれるのです。

何時でも、何処でも、誰れにでもフィットする音楽、それがレイ・コニフ・シンガーズの音楽なのです。



コーラスを楽器の一つにしてしまった男。

鈴木道子 Michiko Suzuki (音楽評論家)

まるで音器のようにヴォーカル・コーラスを使い、軽いスウィング感やロック・ビートにのせて、完全にオーケストラの一部として声を生かすコニフ・サウンドの魅力は、彼のクリエイティヴ・センスを端的に示すものだろう。あの明かるいしゃれた楽しさは、最近になって日本でも身近なものとなったが、それはどアメリカでも進んだ新鮮な魅力だったわけだ。パーシー・フェイスはじめ、ムード・オーケストラが、一時みんなコーラスを入れたことがあった。あれもコニフの人気にあやかるものといえる。それまでのコニフは

歌詞をなしで、スマートにはずんでいたのに、歌詞つきでしっとりした仕上げで訴えてきたのは、当時、言葉のもつ意味が重要視されてきたのを、いち早くつかんで生かしたことがあるのだろう。最近歌詞つき、歌詞なしの両刀使いで、昔のスウィング時代の名曲を、見事に、「声」で再現したりしているが、常に時代の要求を、敏感に取り入れているところは、名編曲者でならした人。それで誰にでも親しめる健康な楽しさを基盤にしているところも、彼の人柄を感じる。

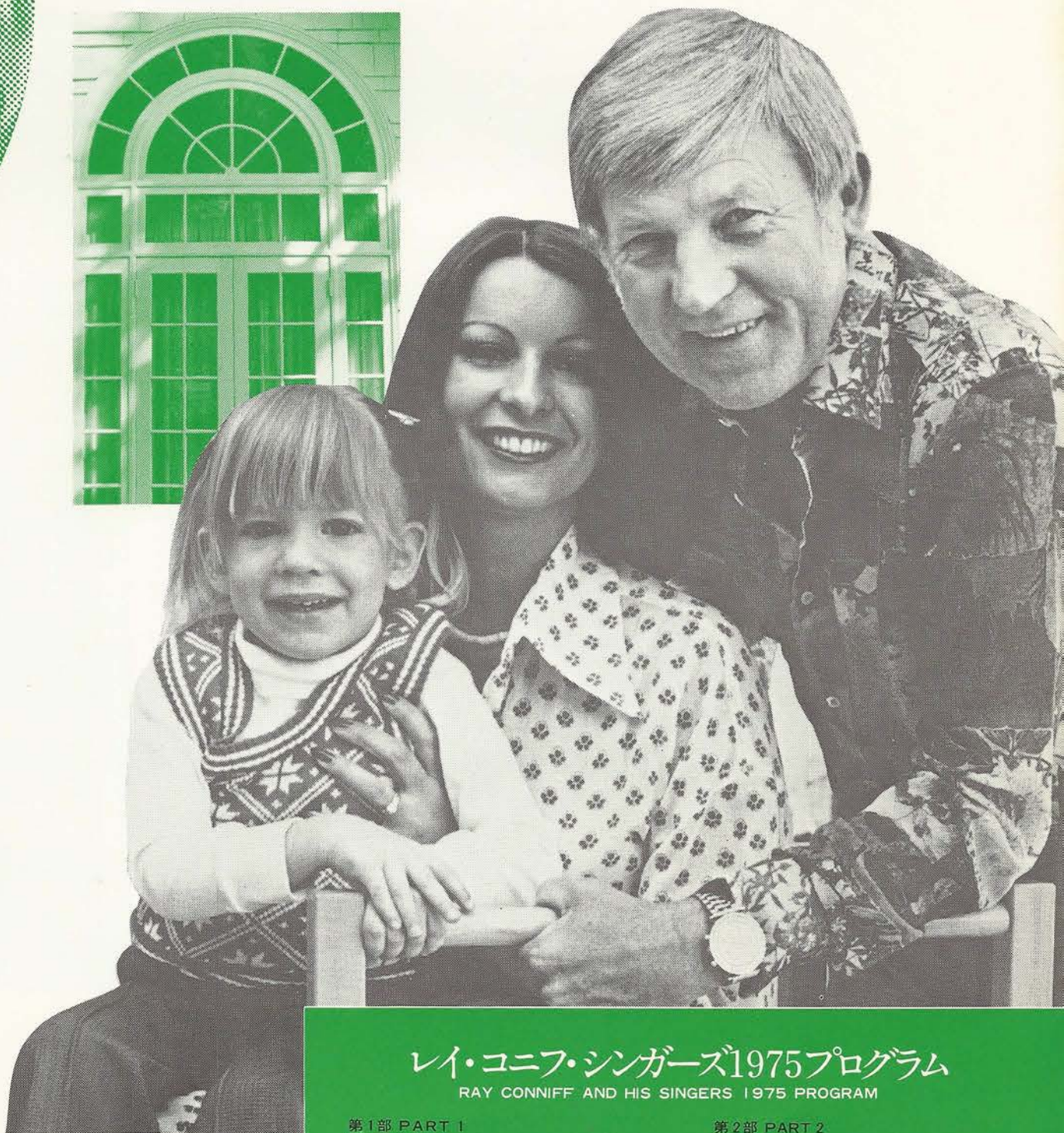
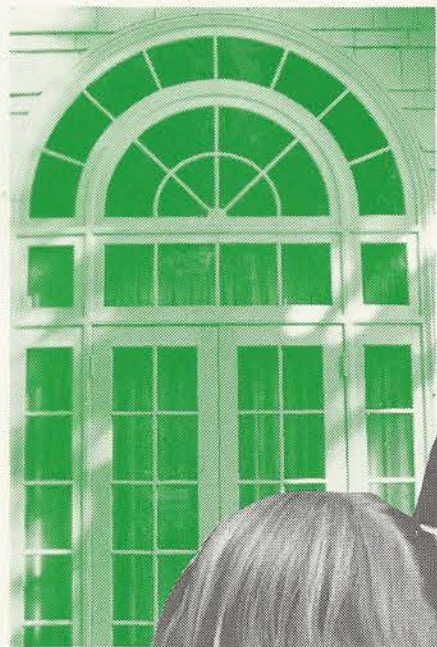


スタンダード×ジャズ×ロック=レイ・ユニフ

青木啓 Hiraku Aoki (音楽評論家)

こちらでも幅広い層に高い人気を持っている最もナウなアメリカのポップ・コーラス・グループ、レイ・ユニフ・シンガーズ。このグループはご存じの通り、先に来日したミッチ・ミラー合唱団、あるいはシングル・シンガーズともちがったスタイルの、すばらしい魅力を持っている。新しいコンテンポラリーなヒット曲を中心にスタンダード名曲も加えた趣味のよい選曲。あざやかなユニフのアレンジ。ジャズ・センスのスクヤットのな唱法も使った多彩な表現力。見事な美しいハー-

モニー。ロック感覚十分のヴァイタルなリズム感とフィーリング。まさに現代のポップスの面白さ、楽しさを満喫させてくれるハッピーなサウンドだ。センセーショナルなデビュー以来19年というキャリアと前向きな意欲を誇る実力派。映画「ドクトル・ジバゴ」の主題歌「ララのテーマ」を歌い大ヒットさせ、1966年度グラミー賞を獲得したことはご存じの方も多はず。見た目にも楽しい洗練された華麗なステージづくりにも定評があるだけに、今回の日本公演は大いに期待される快挙だ。



レイ・ユニフ・シンガーズ1975プログラム

RAY CONNIFF AND HIS SINGERS 1975 PROGRAM

第1部 PART 1

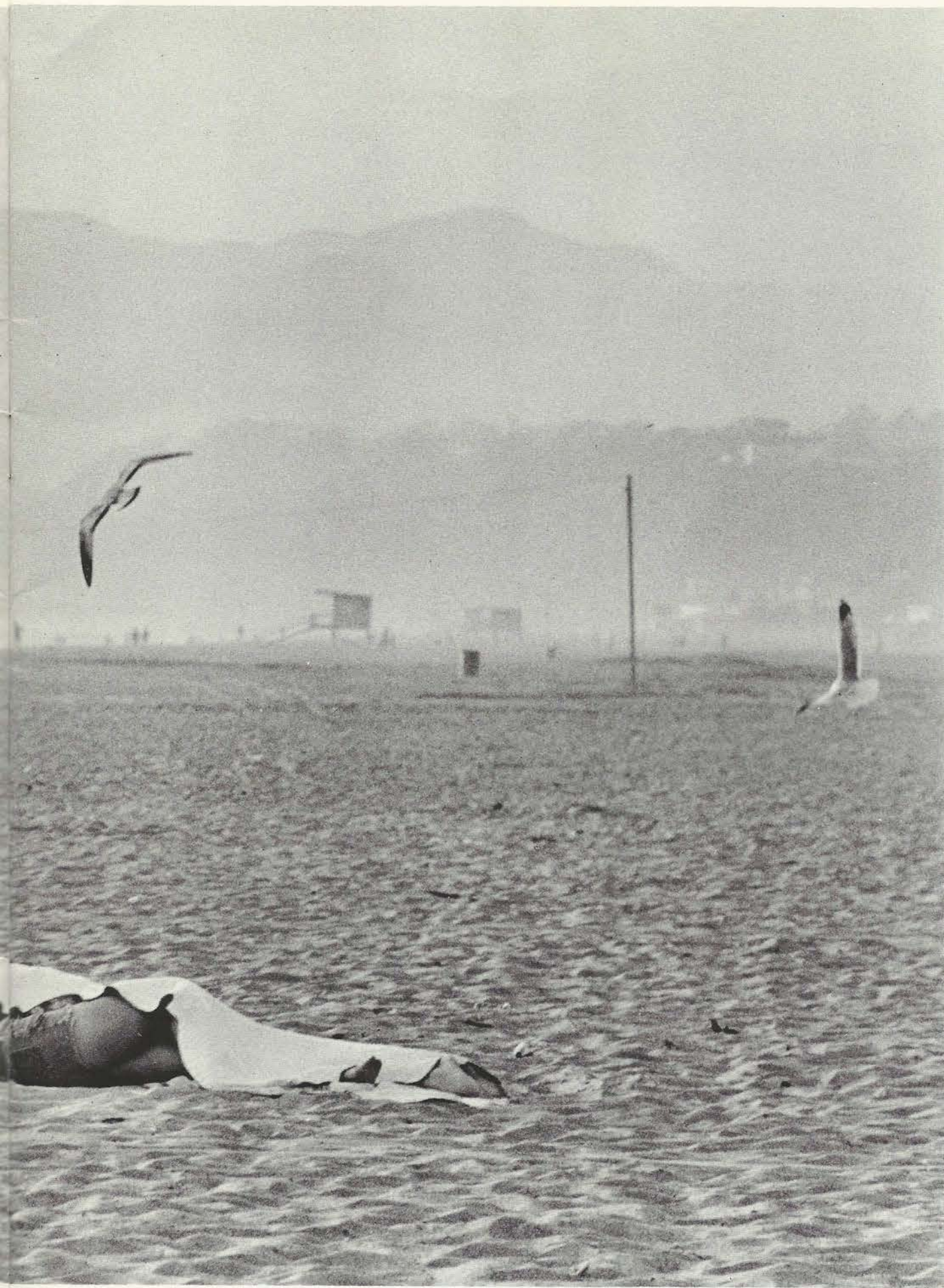
リンゴの花咲く頃
I'LL BE WITH YOU IN APPLE BLOSSOM TIME
イン・サムード
IN THE MOOD
チャタヌガ・チュー・チュー
CHATTANOOGA CHOO-CHOO
ララのテーマ 映画「ドクトル・ジバゴ」より
SOMEWHERE MY LOVE
マイ・リトル・フレンド 映画「ベーパー・タイガー」より
MY LITTLE FRIEND (THEME FROM THE MOVIE "PAPER TIGER")
幸せの黄色いリボン
TIE A YELLOW RIBBON ROUND THE OLE
OAK TREE
思い出はこうして
MEMORIES ARE MADE OF THIS
その手はないよ
DON'T BE THAT WAY
オクラホマ
OKLAHOMA

曲目には一部変更の場合もありますのであらかじめご了承ください。

第2部 PART 2

ス・ワンダフル
S' WONDERFUL
前に微笑を
LAUGHTER IN THE RAIN
オンリー・イエスタデイ
ONLY YESTERDAY
嘆きのジプシー・ローズ
SAY HAS ANYBODY SEEN MY SWEET
GYPSY ROSE
マスカット・ランフル(ディキシーランド)
MUSCRAT RAMBLE (DIXIELAND)
ティンクル・ブルース(ディキシーランド)
TIN ROOF BLUES (DIXIELAND)
サウス・ランパート・ストリート・パレード(ディキシーランド)
SOUTH RAMPART STREET PARADE
(DIXIELAND)
アクエリアス/レット・サ・サンシャイン・イン
AQUARIUS/LET THE SUNSHINE IN
タイム
MAME





ホテルのバーはまるでお祭りの広場のようだった。ピアノの廻りで人々は踊りながら唄っている。ほとんどは中年の夫婦たちで、どこか他の州から、このロサンゼルスに来ているらしかった。次の日にフットボールのゲームがあって大勢で応援に来たのだ。唄は民謡というのか、自分の土地を唄ったもので、人々は手を振り、時にふと厳肅な気分になるらしく、そんな目やふりをした。曲が終るとワッと喚声を上げ互に抱き合った。ぼくはカウンターで映画プロデューサーのスティーブとウイスキーを飲んでた。隣りの男がぼ

くと目が合うときいたくアー・ユー・ハッピー → ぼくは黙ってうなづいた。けれども、よくアメリカ人が言うこんな場合のハッピーが実感としてつかみにくいのだ。ぼくは根本に於いてハッピーでない一瞬のハッピーに素直にハッピーといえない不幸な日本人なのだ。と書いてきたが、一瞬のハッピーがこの世にあることも確かで、素適な音楽などは一曲で人々の心の間隙間にハッピーをつくる。けれども、ぼくの心には不幸の谷間があるから、よほど不幸を消す時間、空間がこないハッピーになりにくい。どうも言葉の遊びになって

しまったなあ。それに一瞬のハッピーはバック・グラウンドのアン・ハッピーを塗りつぶすことができるだろうか。〈ぼくは幸せだなあ〉って若大将はいったけど。時代の不幸を消すことはむづかしい。だから、ぼくらにはレイ・コニフのようなハッピー・サウンドが必要なわけだ。なんだか支離滅裂になってしまったが、すべてがハッピーならハッピー・サウンドはいらないし、ほんものの音楽は一瞬に不幸な人生をハッピーに変える力を持っているに違いない。会いたいなあほんものに。


ところで、あなたは、いま、ハッピーですか。

浅井慎平 Essay and Photo by Shimpei Asai (写真家)



ヘミングウェイだつて、きっと
アフリカに缶詰を持って行ったとちがいないんだ。

岩永嘉弘 Yoshihiro Iwanaga (コピーライター)



草の匂いでスティーブは目がさめた。ノースカロライナの草原の、ここは牧場の境界線なのだろうか。棚が地平線まで続いていて、その外側に、スティーブとキティの白いキャンピングカーが、まるで点のように小さく朝日に光っている。さて、今朝はどんなメニューにするかな。スティーブは起きあがって缶詰をとり出す。コーンスープにオレンジジュース、それに冷凍のハンバーグを戻して、と。しかし、へ

ミングウェイもアフリカに缶詰を持って行ったんだろうか。いや、きっと持って行ったにちがいない。あいつだってアメリカ人だもの。そうだ、ラジオをつけなきゃ。スイッチを押す。レイ・コニフが流れ出す。缶詰を開けながら、スティーブはキティのひたいに唇だけを近づけて、小さなキスをして、言う。「コーヒーはキミの係だよ」。ニューヨークでの朝とちっとも変ってないなあ。そう思いながら彼は次の缶詰を取った。





「シンキング・イン・ザ・レイン」

梶山三太 Santa Sugiyama (CMディレクター)

つい先日、ザッツエンターテイメントを見た。アイム・シンキング・インザレインの歌で始まるこの映画、最初はどうかということもなく、あゝあの映画、この映画見た、そうフレッドアステアのバンドワゴンのあのタップはよかった……。どうして昔の人は、あのようなかでかいセットを組みのたろう。とにかく、頭で考えた事を、本気でセットにしてしまう。特にあのフルオーケストラを全員床の下に入れ手だけを出して演奏させたあのシーン。こんど自分のCMでも思いついたままを、全部本気で作って、どんなばかどかいセットでも作ってやるのか。しかしそれでは気狂いあつかいされるなあ…。などと考えながら見ていたのである。この映画に出てくる時代の映画は、私がちょうど小学生の頃どういうわけか、我が家では「高円寺平和劇場」という映画館のフリーパスを持っていて、この映画館は洋画専門で、その当時は、2本〜3本立がざらで、毎週2〜3本交代で約3年間

位、毎週面白い映画もつまらない映画も見てたわけで、当時はまたこれやたらにミュージカル住立の映画が多くて、また、ミュージカル？なんて具合で、幼な心にいいシーンになるとなぜ突然ラブソングを歌い出すのたろうなどと、ミュージカル映画を、好きな半面多少批判的に見ていた、生意気なジャリ時代を思い出したりして、結構気楽な気持ち見ていたのだが!? ジャーン! 映画が半分過ぎ位になってから、何か胸の中に、モワッとしたものが出て来て、体の中でかたまりになり、下の方からもうすごい力でグーッと持ち上って来て、隣に一諸に映画を見に来たワンジェネレーションも違う相棒に得意気に説明する言葉も、数少なくなり、ホロリと一つ落ちた涙がキューとなり、もうどうにもとまらなくなり、ジーンケリーが、道路で、アイムシーン……………などと歌う頃には、隣りから借りたハンケチは、グシャグシャ、もうめちやくちやくに、めちやくちやくに泣けて、よく声

を出すのを我慢した自分は偉かったなどというほど泣けてくるのでありました。隣の人は何事が起ったとばかりに目を白黒、人には感じやすい時があるのよ、などとまったく違った事をいっておる。――

バカモン! おぬしはわかってない! われはわかったのだ! ものすごくわかったのだ!

私は、この映画の演出がたくみであったからとか、あの俳優がよかったとか、ストーリーが泣かせたとか、特にこの時体調が悪く、気が弱ってたとかいうのではな〜い。

歌こそ体質なのです。理屈じゃないのです。人間はただゴハンを食べて、イキをしてるのではないことを! 歌を歌う事も聞く事もイキをしてるのとまったく、まったく同じであり、これが生きている事なのだ、心の底から、体の底から感じたのです。アイムシンキング・インザレインのメロディーが僕を目覚めさせたのです。アメリカ人がアメリカのミ

ュージカル映画の中で歌った、アメリカ人の単にナツメロではないのです。この歌は、私の歌、僕の歌なのです。この映画をアメリカで上映した時に、ある時は皆立ち上り拍手をし、ある時は中年夫婦が映画を見ながら、肩を抱きあい涙を流していたという話を聞き、ああこの映画はいままでのミュージカル映画のナツメロ版だななどと、他人事に考えていたのに、トンデモナイ。これは自分の映画であり歌だったわけです。だから、演歌だって、軍歌だって、その人の体質になれば歌なのです。もう云い出すときがないのでやめます。

でもうまくいえないなあ〜 この気持。文章では、いつもレコードのレコード解説を読むと、ちょっとビントがずれてて、もうひとつ感じが出ない様なものだなあ〜。歌バンザイ。音楽バンザイ。

レイ・コニフのハッピーサウンドは、レイ・コニフだけでは生まれない。



スキーツ・ハーファート Skeets Herfurt

テナーサクソ/クラリネット
tenor sax/clarinet

本名アーサー・レズモンド・ハーファートといい、オハイオ州シンシナチに生れる。彼の多才な面は、高校時代より発揮されていて、スキーツ(Skeets)というニック・ネームもその頃つけられたものだ。

18歳になるまでデンバーに住み、ジョン・フィリップ・スーザ・バンドのソロイスト兼アシスタント・コンダクターをしていた。その後、ジョン・レイクに師事し、ボストン音楽学院を卒業しデンバー大学、コロラド大学で音楽の多くを学んだ。

彼がまだ在学中、ブロードムア・カンントリー・クラブで演奏しているところを、グレン・ミラーに認められ、ニューヨークで初めて出演契約をとった。その後、トミー・ドーシーのオーディションにも合格し、初めてビッグ・バンドに参加した。その間にも、テレビ、ラジオ、映画などの仕事をはさみ、数々のビッグ・バンドで演奏している。

最近の彼の仕事に、タイム・ライフ社の依頼で鑑修した15巻にもなる、コールマン・ホーキンス、ベニー・カーター、ジョニー・ホッジス、ウディ・ハーマン、チャーリー・パーネットなどの、いわゆるビッグ・バンドの功労者を自らクリエイトしたシリーズ・レコードがある。

美しいタホー湖で、優雅な生活を送っているスキーツ・ハーファートである。



パナマ・フランシス Panama Francis

ドラムス
drums

1918年12月21日、マイアミ生まれの57才。母いわく、3才ですでにテーブルにつけば、スプーンで調子を取り、クリスマスにはドラムが欲しいとねだる子だったそうだ。

50年代、キャブ・キャロウェイのバンドを経て、デューク・エリントン・バンドに参加している。その後、もっぱらスタジオ・ミュージシャンとして活躍、その間、スリム・ゲイラー、チャーリー・パーカーとともにバードランドに出演、コンラッド・ジャニスらとも共演した。

60年代に入ってからは、GMのキャデラック専属のコマーシャル・ツアーに参加し、4年間ほどそれに専念、その後、ダイナ・ショアのドラマーとして8年、仕事をした。

70年代早々には、TVショー「ア・ナイト・アット・ザ・パレス」にレギュラー出演、近年は、レイ・コニフと共に仕事をする機会が多くなっている。



ジョン・ベスト John Best

トランペット
trumpet

ジョン・ベストのトランペッターとしてのバンド・キャリアは、彼の生まれ故郷のノース・キャロライナのデューク、デビッドソン大学学だった。

プロになってからは、レス・ブラウン、チャーリー・パーネット、アーティー・ショウ、グレン・ミラーなど、名声を博した数々のビッグ・バンドに次々と参加した。戦時中、海軍に入り、アーティー・ショウとサム・ドナヒューのバンドでプレイ、戦後、ベニー・グッドマン、ボブ・クロスビー、ジェリー・グレイ、ビリー・メイらのバンドで活躍した。彼の本拠地は、現在、南カリフォルニアのサンディエゴ、ロスサンゼルス周辺で、フリーとして多くのコンボで演奏活動を続けている。ジョン・ベストは67年以来、レイ・コニフのすべてのレコーディングに参加している。



リチャード・マルドリ Richard Maltby

サウンド/ライト
sound/light

リチャード・マルトビーは、音響と照明効果の専門家というよりも、それは彼の多面性のごく一部であり、むしろ作曲家、編曲家、指揮者としての知名度の方が上かもしれない。ノース・ウエスタン大学音楽部卒業後、シカゴのCBSの作・編曲部門の一員となり、その後、ニューヨークABC放送で、作・編曲、指揮の部門での一員となる。

55年から67年まで、リチャード・マルトビーは自らのビッグ・バンドを編成、国内350もの大学のキャンパスを回った。67年にローレンス・ウェルクのアシスタントとなり、何枚かのレコードをアレンジし、TVショーの構成なども担当した。



原信夫とシャープス&フラッツ Nobuo Hara & His Sharps & Flats

52年結成というから、もう23年の長きにわたって、日本のビッグ・バンド界のリーダー的存在として活躍してきたことになる。原信夫は26年11月19日、富山で生まれた。海軍軍楽隊、横浜の駐留軍のクラブでのジャズ演奏などを経て、シャープス&フラッツ結成に至るが、もちまへのバイタリティーと、研究熱心を生活態度で、今日のシャープス&フラッツを築きあげた。

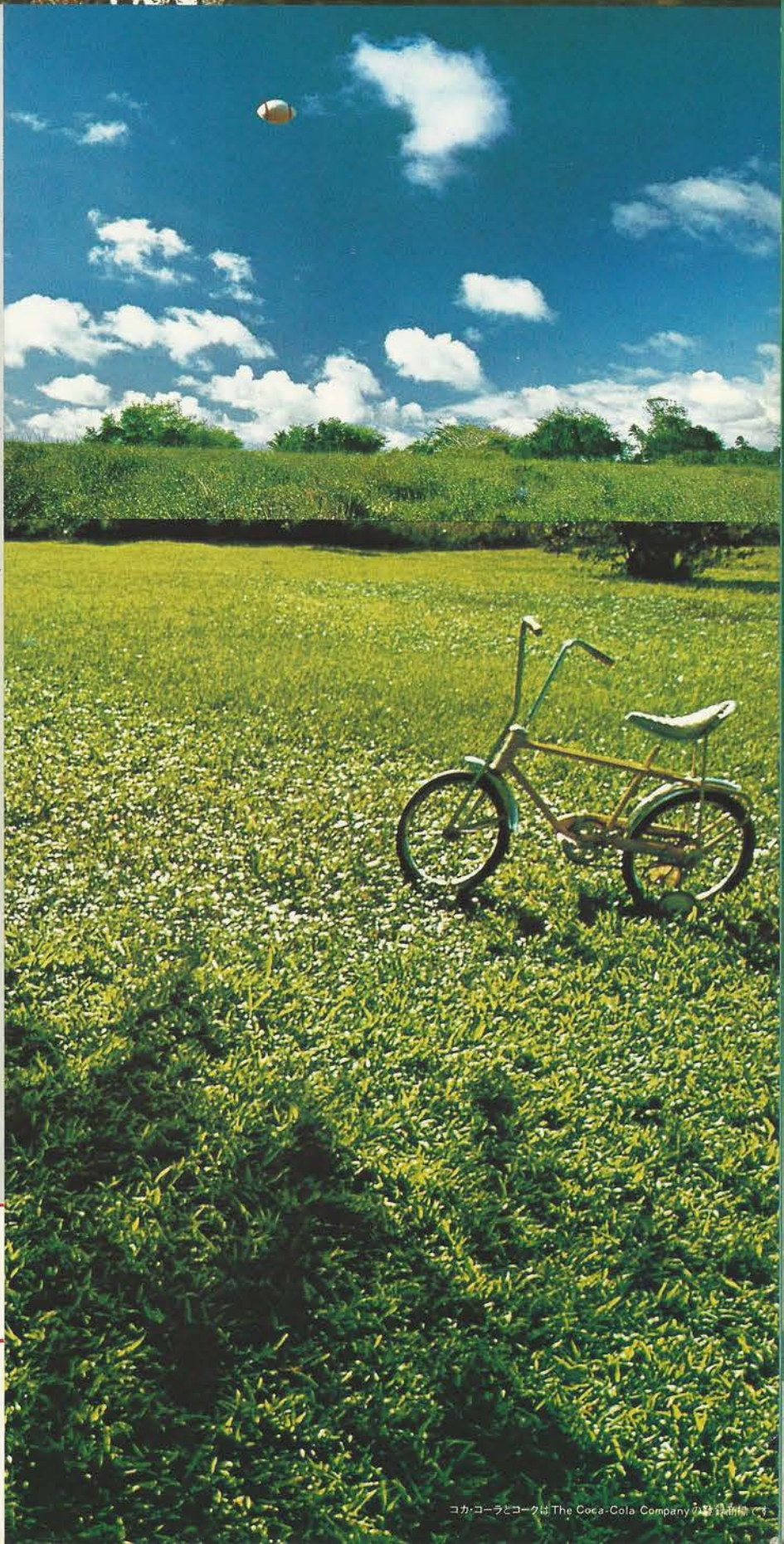
来日アーティストとの共演も多く、日本公演では必ずシャープス&フラッツを、と指定してくるアーティストもいるほど。過去に、アンディー・ウィリアムス、トニー・ベネット、アニタ・オディ、フォー・トップス、スリー・ディグリーズ、シュープリームス、シャーリー・バクシーなど、数多いアーティストのサポートで、おなじみの方も多いことと思う。



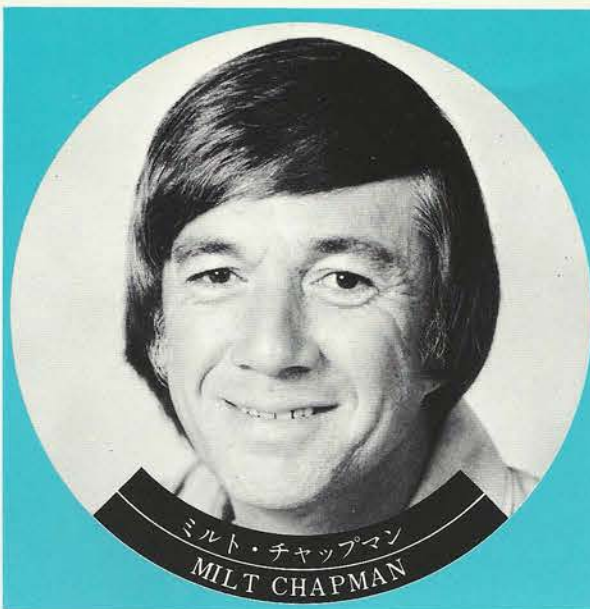


春は、空気の味が
 違います。
 野原で、
 草野球でもしますか？
 公園のベンチで
 ギターでも弾きますか？
 それとも、
 気の合ったどうして
 サイクリング？
 春は、コカ・コーラの
 さわやかさも、
 いっそうさえる季節です。

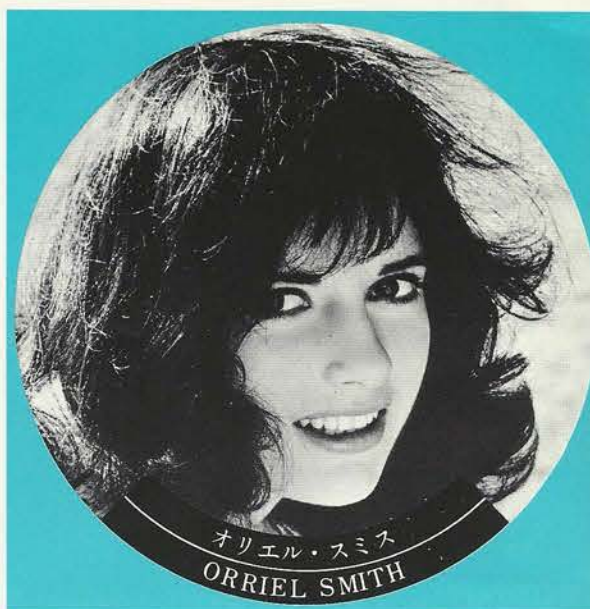
空気清涼。コークがうまい。



スカッとさわやか コカ・コーラ

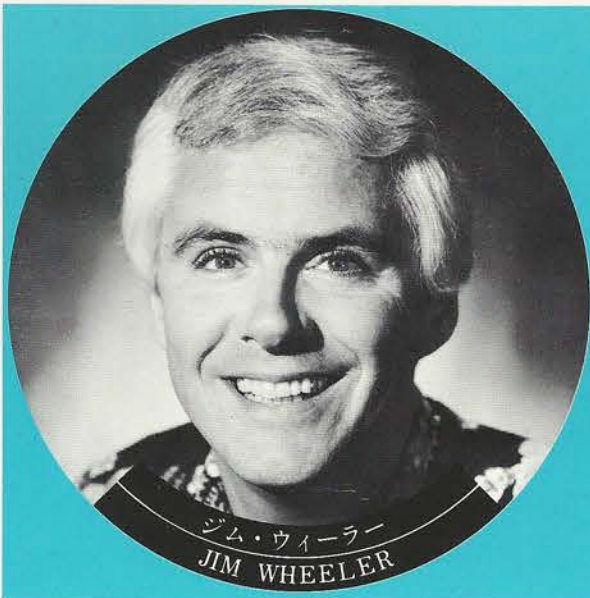


ミルト・チャップマン
MILT CHAPMAN



オリエル・スミス
ORRIEL SMITH

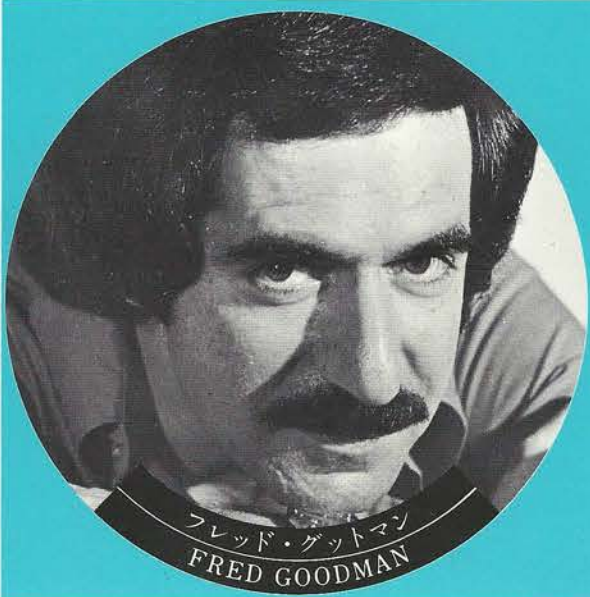
THE RAY CONNIFF SINGERS



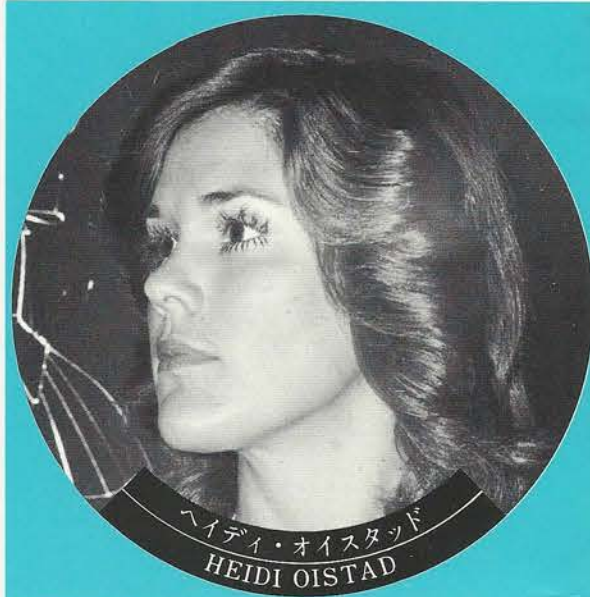
ジム・ウィーラー
JIM WHEELER



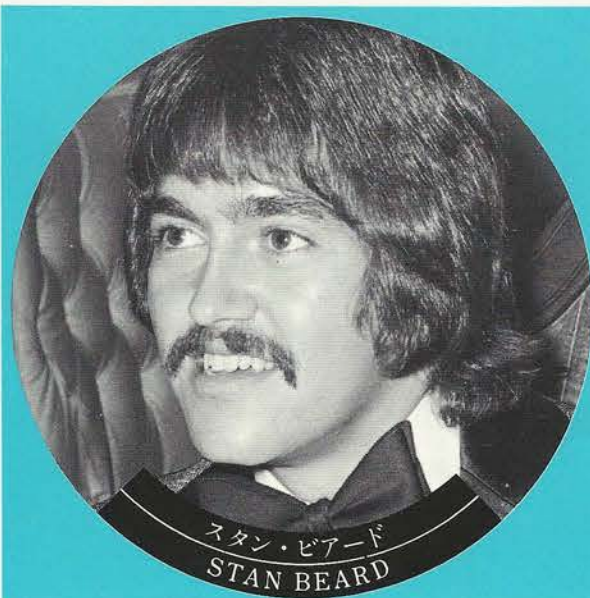
ジュディ・マードック
JUDY MURDOCK



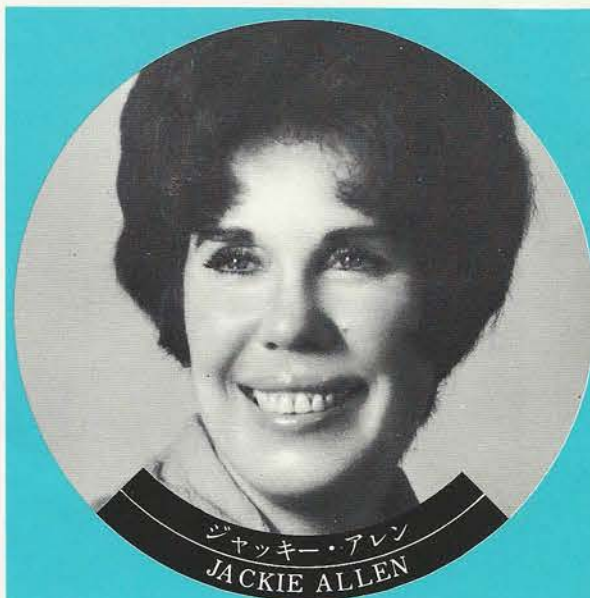
フレッド・グッドマン
FRED GOODMAN



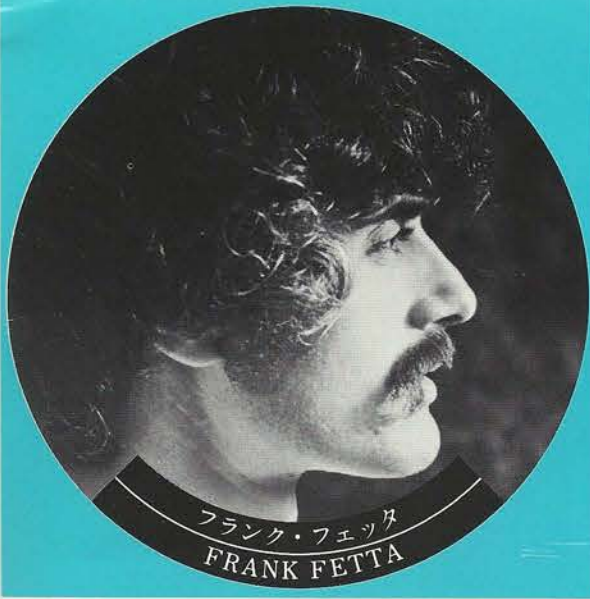
ヘイディ・オイスタッド
HEIDI OISTAD



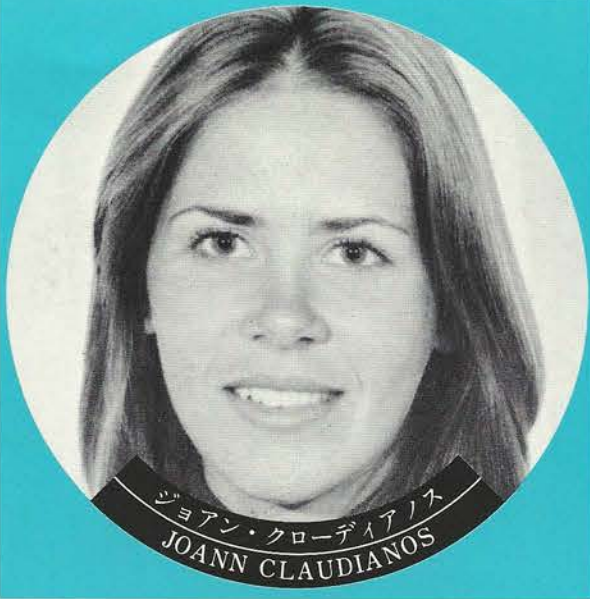
スタン・ビアード
STAN BEARD



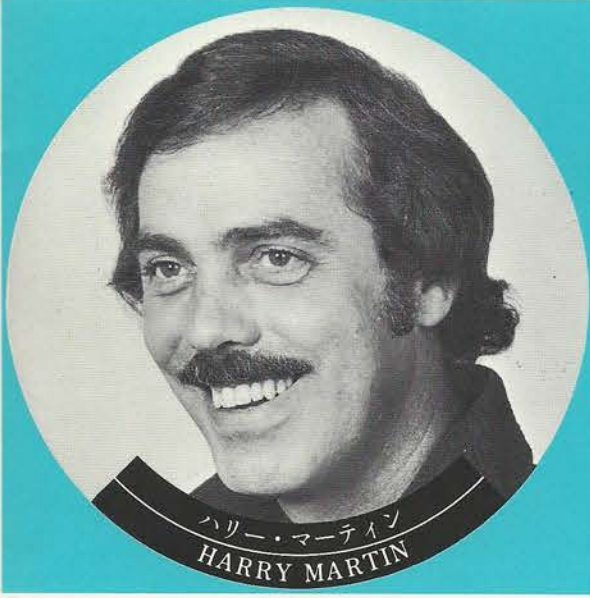
ジャッキー・アレン
JACKIE ALLEN



フランク・フェッタ
FRANK FETTA



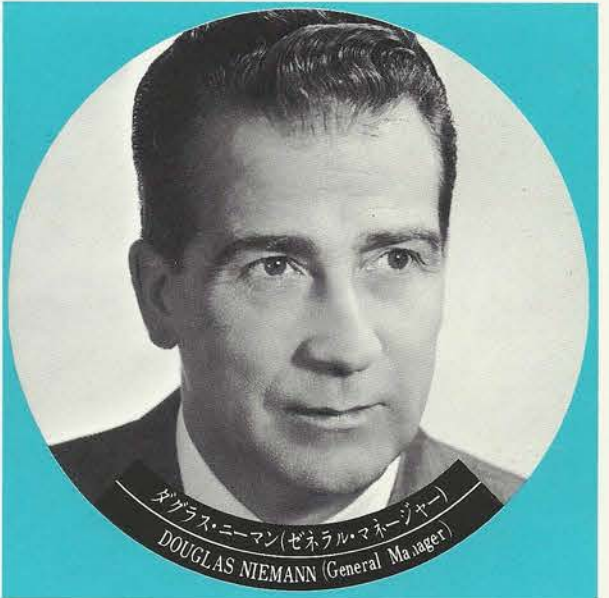
ジョアン・クロードイアノス
JOANN CLAUDIANOS



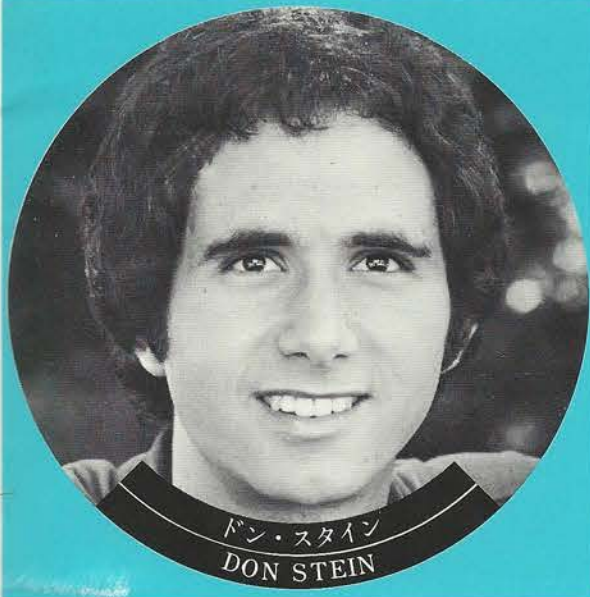
ハリー・マーティン
HARRY MARTIN



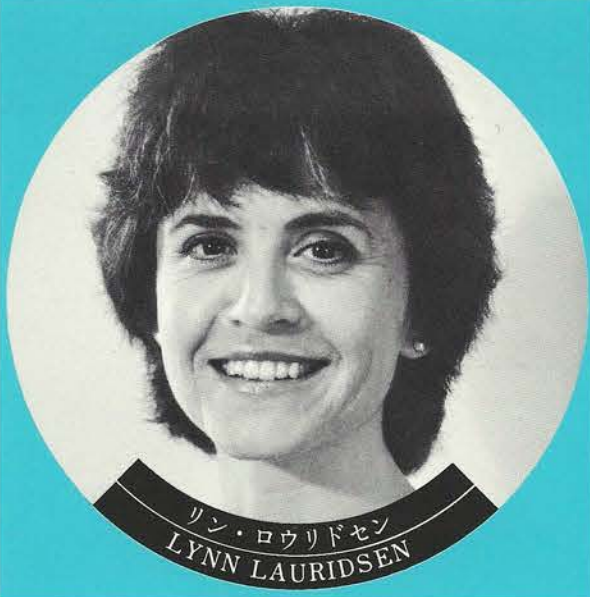
ジュリー・ロバートソン
JULIE ROBERTSON



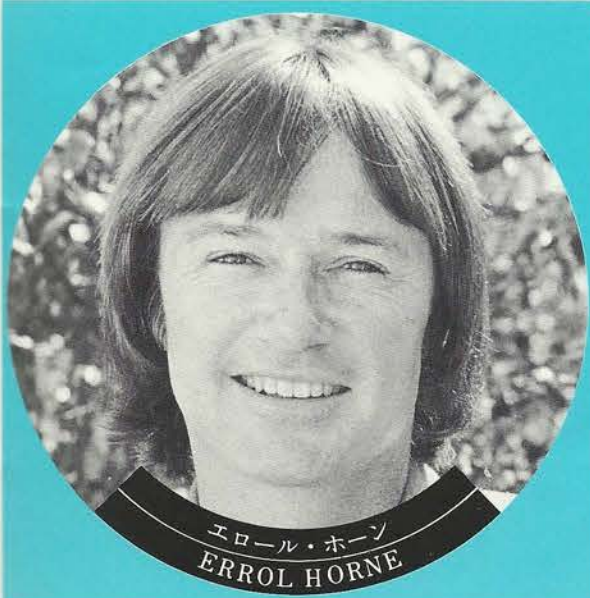
ダグラス・ニーマン(ゼネラル・マネージャー)
DOUGLAS NIEMANN (General Manager)



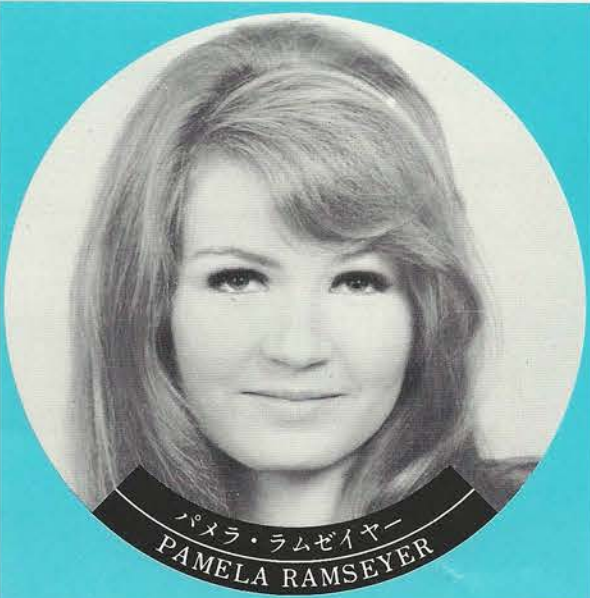
ドン・スタイン
DON STEIN



リン・ロウリドセン
LYNN LAURIDSEN



エロール・ホーン
ERROL HORNE



パメラ・ラムゼイヤー
PAMELA RAMSEYER

〈レイ・コニフの人と音楽〉

レイ・コニフのファンであるか否かで その人の洗練度が分る。

青木啓 Hiraku Aoki (音楽評論家)

●“ハッピー・サウンド”のレイ・コニフ

アメリカのコーラス・グループ、レイ・コニフ・シンガーズが初の日本公演を行なうことになった。結成から19年という長いキャリア、しかも常に前向きな姿勢を保ち、今日のフィーリングで活躍しているこのグループの人気はまことに高く普遍的であり、わが国でも数多いレコードを通じて広く知られているが、とくに最近では「カーペンターズの世界」「ライブ・アット・サハラ/タホー」「エンターティナー」といった傑作アルバムによって、ヤングを中心とした幅広い層から親しまれ、まったくポピュラーな存在となった。それだけに今回の来日はポップス・ファンにとって一大朗報といえるし、待望の日本公演といえるだろう。ご存じのようにレイ・コニフ・シンガーズは、先に来日したミッチ・ミラー合唱団とも、またシングル・シンガーズともちがった手法とスタイルを持っている。新しい感覚から生まれた今日のヒット曲を中心に、懐かしいスタンダード名曲も加えたワイドで変化に富んだレパートリー。あざやかな編曲。ビューティフルで見事なハーモニー。快適なリズム感。それらが一体となった明るくて楽しいサウンド。これはまさに誰もが乗れる現代のハッピー・サウンドだ。今回の来日で、レイ・コニフはこのハッピー・サウンドの魅力ダイレクトに味あわせ、ファンを魅了し尽くすにちがいない。

●スイング・ジャズに活躍したレイ・コニフ

リーダーのレイ・コニフは、1916年11月6日、マサチューセッツ州アトルボーロの生まれ。父親ジョンは家具職人だったが大の音楽好きで、アマチュア楽団のリーダー兼ピアニストをつとめ、トロンボーンもこなせた。母親モードもピアノのうまい人。レイは父からピアノを学び、その後トロンボーンの手ほどきを受け、高校時代に友人とダンス・バンドに入ってトロンボーンを吹いた。またこのころから編曲に興味を持っていた。34年、卒業と同時にボストンに行き、ダン・マーフィーのひきいるミュージカル・スキッパーズというバンドに参加し、次にハンク・ピアジーニ楽団で活躍した。36年、彼はニューヨークに行き、有名なスイング・ジャズのトランペット奏者バニー・ベリガン楽団に入り、39年からはボブ・クロスビー（大歌手ビングの実

弟）の楽団に移り、40年からはグッドマンと並ぶクラリネットの名手アーティ・ショウの楽団に迎えられ、トロンボーンを吹くだけでなく編曲にも腕をふるい、「ジャンピン・オン・ザ・メリー・ゴー・ラウンド」「スワンダフル」などの名編曲を提供した。そして余暇にはジュリアード音楽院の通信教育で作曲・編曲に磨きをかけていた。45年、彼は陸軍のサーヴィス機関に入り、ここで作曲家メレディス・ウィルソンや、合唱指揮で有名なウォルター・シューマンと共に働いた。45年末レイは人気トランペット奏者ハリー・ジェームスの楽団の編曲者となり、「ポーモント・ライド」「セブテンバー・ソング」ほかの見事な編曲を行ない注目された。やがてハリーは新しいジャズ、ビ・バップに興味を持ったが、コニフは好きになれず、そのために1949年、コニフはハリーの楽団をやめた。

●編曲者として名声を得たレイ・コニフ

コニフの生活は苦しくなったが、彼は新しいセンスで広く大衆にアピールする編曲について研究をつづけていた。1953年、彼はハリウッドからニューヨークに移り、54年にはNBC放送局のスタッフとなったが、間もなくCBSコロムビア・レコードのプロデューサー、ミッチ・ミラーと知り合い、ミッチの紹介でCBSコロムビアに迎えられ、55年から歌手のための編曲を始めた。まずコニフの編曲によるドン・チェリーの「バンド・オブ・ゴールド」が55年から56年にかけて大ヒット。つづいて56年から57年にかけてコニフの編曲と指揮による次の歌手のレコードがミリオン・ヒットとなった。ガイ・ミッチェルの「ブルースを歌って」、ジョニー・マティスの出世作でもある「ワンダフル・ワンダフル」「チャンス・アー」「お目当てががい」マーティ・ロビンスの「ホワイト・スポーツ・コート」、フランキー・レインの「ムーンライト・ギャンブラー」。これらのヒットでレイ・コニフは、歌手からも会社からも、そして大衆からも、最も優秀なヒットを生む名編曲者として信頼される人気アーティストとなった。

●異色のコーラスでセンセーションをまき起こしたレイ・コニフ

1956年、レイ・コニフはひとつのアイデアを、会社首脳部の賛意を得て実行に移した。その結果そして発表されたのが今も語り草と

なっている傑作アルバム「スワンダフル」である。レイ・コニフ・オーケストラとしてつくられたものだが、スタンダード名曲をコーラスとオーケストラで聞かせるもので、とくに男女コーラスを楽器のように使い、しかも歌詞を歌わず、スカット風のボーカリーズで通した点と、全体を16分音符の軽快なシャッフル・リズムに乗せ、あざやかにジャンプさせた点がユニークだった。人声を楽器のように用いることは、レイがジャズ・プレイヤーとして活躍していた時代に、ヒマなときに仲間とそれぞれの楽器のパートを歌って楽しんだ体験、その思い出から生まれたものだった。また、シャッフル・リズムは、当時さかんとなってきたロックン・ロールのリズムに通ずる楽しさがあった。そこで「スワンダフル」は全米にセンセーションをまき起こし9ヵ月間もアルバム・ベスト・セラー・チャートの20位内にランクされつづき、シングル盤で出された「スワンダフル」は57年春に全全ヒット・チャートの上位に入った。コニフはつづいて「スマーベラス」など多くのアルバムを発表、いずれもベスト・セラーとなっているし、ミリオン・ダラー・アルバムは15種を記録しているという。

●グラミー賞受賞に輝くレイ・コニフ

やがてコニフはコーラスに歌詞を歌わせることもやり、1960年代に入ってからレイ・コニフ・シンガーズとして歌詞を用いる場合の方が多くなった。1964年の「人知れぬ涙」など多くのヒットを生んでいるが、1966年の大ヒット「ララのテーマ」(映画「ドクトル・ジバゴ」の主題歌)で、遂にグラミー賞の最優秀コーラス賞受賞の栄誉に輝いた。その後も「ジーン」とか、73年の「ハーモニー」などビッグ・ヒットを放っている。

●コンサートに新手法を生んだレイ・コニフ

コニフはナマのステージ・コンサートにも意欲を燃やし、大いに活躍してきたが、ステレオの開発と普及を先どりして、1959年6月12日、カリフォルニアのサンタ・モニカ公会堂で「コンサート・イン・ステレオ」と銘打った新方式のコンサートを行なった。それは会場に高性能のアンプ、スピーカー、リバーブなどの装置を持ち込み、3チャンネルのステレオ効果を生んだもので、その音響と照明設備には3万ドルも要したが、聴衆はまるで

自分がオーケストラやコーラスのメンバーになったような錯覚を起こすほど、実にすばらしい音楽の世界を体験したのだった。この画期的な手法をコニフは今もつづけている。その様子は、先に本邦でも発売されたライブ・レコーディング・アルバム「サハラ/タホー」でもよく知ることができる。

●最もナウなコーラスの魅力満喫させるレイ・コニフ

現在、コーラス・グループといえばテンプテーションズ、スリー・ディグリーズ、スタイリスティックスといったソウル系のそれが圧倒的に多い。そこで、いわゆるポピュラー・ミュージックのコーラス・グループとしてレイ・コニフ・シンガーズの存在は貴重ともいえそうだ。ロック、ソウル、フォーク、カントリーなどの新しいヒット曲、スタンダード・ナンバーとなっている名曲、それにラテン・アメリカの名曲までもふくむワイドなプログラム。4ビートから8ビートまでの多彩なリズム。まったくモダンでコンテンポラリーなセンスの光る編曲。選抜抜かれた優秀なメンバーによるコーラスとオーケストラ。そのひとり一人がソロイストとしても通用する人物であり、事実コンサートでは立派なソロも披露する。また、コニフのコンサートは視覚面での楽しさ面白さという点でも定評がある。ときにはロマンティックな美しいムードを、ときにはバイタリティあふれるスイングやロックの魅力をふりまくレイ・コニフ・シンガーズ。彼らは最もナウなポップ・コーラスの楽しさを持っているグループといえよう。アメリカでは「レイ・コニフのファンであるか否かで、その人のセンスの洗練度がわかる」ともいわれているそうだ。それはともかく、レイ・コニフ・シンガーズの「ハッピー・サウンド」が、そのまま現代の「ラブ・サウンド」となることもたしかであろう。

●私生活でのレイ・コニフ

彼はハリウッドのプールつきのしゃれた家に、愛妻ベラ、3歳の娘タマラと住んでいるが、ベラはスイス生まれの美人で、元ファッション・モデルとしても有名だった。レイの趣味は、なんとカー・レース。彼自身レースに参加したことがある。またゴルフも大好きで、アンディ・ウィリアムス・オープンで優勝した実績を持っているスポーツマンだ。



加藤しげき Shigeki Kato
(TBSラジオ・プロデューサー)

チャタヌガ・チュー・チュー
Chattanooga Choo Choo

チュー・チューとは蒸気機関車の音のこと、チャタヌガ行きのキシャポッポをうたったハッピーな小唄です。グレン・ミラーの演奏でヒットしましたがレイ・コニフはロック・リズムや新しいサウンドをとり入れながら楽しいコーラス・ナンバーに仕上げます。なつかしさと斬新さが聞き手をひき込むでしょう。

ララのテーマ
Somewhere My Love

映画“ドクトル・ジバゴ”のテーマ曲。モリス・ジャールの作曲です。レイ・コニフ・シンガースはこの曲を1966年に大ヒットさせて、グラミー賞の最優秀コーラス歌唱賞を得ています。男声女声のユニゾンでシンプルなリズムで装ったさわやかなサウンドが原曲のイメージとダブって快くひびきます。

リンゴの花咲く頃
I'll Be With You in Apple Blossom Time

1920年に作られたナンバーで、1941年にはあのアンドリュース・シスターズがリバイバル・ヒットさせています。ノスタルジックなハッピー・サウンドでレイ・コニフ・シンガースは持ち味を活かしスウィングーなスカット・コーラスとプラス・セクションによって現代的に展開します。

イン・ザ・ムード
In the Mood

グレン・ミラーのキラ・デイラー・スタイルでおなじみのダンス・ナンバー。1938年の作品で、最近ではノスタルジーの現代性を問うたベッド・ミドラーが唄って話題となりました。ミラーのオリジナル・アレンジをコーラスとプラス・セクションに活かしたレイ・コニフ・サウンドもなかなかのききものです。

思い出はこの様に
Memories Are Made of This

ディーン・マーティンやビング・クロスビーと云った大御所のシンガーが唄って人気のあった曲です。コーラスの方ではフォー・ラップズのものがある。レイ・コニフは客席によびかけて、楽しいギャグをまじえながらコンサートの雰囲気をもり上げてくれます。レイのステージ用のアレンジがききどころ。

その手はないよ
Don't Be That Way

ベニー・グッドマンの演奏で有名なスタンダード・ナンバー。オリジナルは1934年にエドガー・ Sampson の作ったインストメンタル・ナンバーです。レイ・コニフ・シンガースはベニー・グッドマン・スタイルのサウンドをボーカリーズによってスウィングーに再現して、4ビートの楽しさを堪能させてくれます。

マイ・リトル・フレンド
My Little Friend

東南アジアを舞台に現代の視点で展開するイギリス映画“ペーパー・タイガー”の主題歌です。外人俳優とならんで三船敏郎や安藤一人少年の名優が話題を呼びそう。音楽はロイ・パットが担当、日本封切りは今秋の予定主題歌ロサントラでもうたっているレイ・コニフがひと足早くきかせてくれるわけです。

幸せの黄色いリボン
Tie A Yellow Ribbon Round The Ole Oak Tree

トニー・オルランドとドーンが1973年に大ヒットさせたハッピーなナンバーです。売上げ枚数は世界中で300万枚と云いますからたいへんなものです。アメリカでは結婚パーティーと云うとかならずうたわれる愛のうたなのです。レイ・コニフはこの歌の雰囲気で大編成コーラスでのびのびと表現します。

思い出はこの様に
Memories Are Made of This

ディーン・マーティンやビング・クロスビーと云った大御所のシンガーが唄って人気のあった曲です。コーラスの方ではフォー・ラップズのものがある。レイ・コニフは客席によびかけて、楽しいギャグをまじえながらコンサートの雰囲気をもり上げてくれます。レイのステージ用のアレンジがききどころ。

その手はないよ
Don't Be That Way

ベニー・グッドマンの演奏で有名なスタンダード・ナンバー。オリジナルは1934年にエドガー・ Sampson の作ったインストメンタル・ナンバーです。レイ・コニフ・シンガースはベニー・グッドマン・スタイルのサウンドをボーカリーズによってスウィングーに再現して、4ビートの楽しさを堪能させてくれます。

オクラホマ
Oklahoma

オスカー・ハマージェティンII (詞) とリチャード・ロジャース (曲) のコンビの作になる1943年のブロードウェイ初演以来5年間のロングランを記録したヒット・ミュージカルの中の一曲、後にオクラホマ州の州歌となった名曲です。緑の牧場を背景に展開する恋の物語をドラマティックにきかせます。

ス・ワンダフル
S' Wonderful

佳き時代のソング・ライター・コンビ、ジョージ&アイラ・ガーシュインの作品で、レイ・コニフの名を世に出した記念すべき曲でもあります。ボーカリーズとオーケストラサウンドの融合、歯切れの良いリズム群による斬新さとイキの良さが1956年にファンの人気を集めコニフの名声を決定的にしました。

雨に微笑を
Laughter In The Rain

あのニール・セダカが1962年以来13年ぶりに大ヒットをとばした現代のポップ・チューンです。ニール・セダカとフィル・コディの共作でユニークなメロディー・ラインと美しいハーモニーを持っています。レイ・コニフはさっそくこの名曲をとり上げて、得意の明るいコーラス・サウンドできかせます。

オンリー・イエスタデイ
Only Yesterday

“トップ・オブ・ザ・ワールド”“イエスタデイ・ワンスモア”に続くカーペンターズの自作による最新のヒット・ナンバーです。カレン・カーペンターズのソロをフィーチャーして愛の喜びと悲しみをうたったオリジナルのメロディーをレイ・コニフ・シンガースがどのように料理するかが楽しみです。

“嘆きのジプシー・ローズ”
Say Has Anybody Seen My Sweet Gypsy Rose

“幸せの黄色いリボン”と並ぶドーンのヒット曲です。ドーンの話題アルバム“ラグタイム・フォリーズ”の中にもおさめられオールド・ファッションなサウンドとハッピーな現代感覚が大いにうけました。レイ・コニフ・シンガースもラグタイム・バンド風なサウンドにのせて楽しさいっぱいにうたいます。

マスカラット・ランブル
Muskrat Ramble

ルイ・アームストロングのホット・ファイブの演奏以来多くのバンドがとりあげているディキシランドのスタンダード。ホット・ファイブのトロンボーン奏者キッド・オーリーの作った曲で考えてみればレイ・コニフもトロンボーン奏者でしたから一脈通ずるところがあるのかもしれない。

ティン・ルーフ・ブルース
Tin Roof Blues

1923年にニューオルリンズ・リズム・キングスのオリジナル・メンバーによって共作されたトロンボーンをフィーチャーしたブルースの名曲です。2つのメロディー・パートを持った典型的な12小節ブルースで、多くのディキシランドのトロンボーン奏者が有名な演奏を残しています。さてレイ・コニフは……?

サウス・ラムパート・ストリート・パレード
South Rampart Street Parade

ディキシランドの方ではパレード・ナンバーもブルースとならんで名曲が多くありますがニューオルリンズの通りの名をつけたこの曲もそのうちのひとつ、1937年にボブ・クロビー楽団にいたレイ・ボーダックとボブ・ハガートが共作しました。レイ・コニフも楽しいディキシランド・スタイルで演奏します。

アクエリアス/レッド・ザ・サンシャイン・イン
Aquarius/Let The Sunshine In.

1960年代の後半の風俗を音楽の世界に表現したラヴ・ロック・ミュージカル“ヘアー”の中の曲で、1969年の前半に黒人5人組のボーカル・グループ“フィフス・ディメンション”のシングルが大ヒットとなりました。日本題を“輝く星座”と云い、多くのアーティストがとり上げる場所となりました。

メイム
Mame

ハロー・ドリーを書いたジェリー・ハーマンが1968年に書き上げたミュージカル・ナンバーで、ハロー・ドリーに似た20年代〜30年代的小粋なメロディーを持っています。レイ・コニフはディキシランド風の演奏とコーラスで楽しく華やかに盛り上げて、ショーのエンディングをかざります。

Sounds with Coke Special

TRADE MARK REGD.

D.J. 全国D.J.紹介②

まったく新しいタイプの音楽番組サウンズ・ウィズ・コークが、いま全国33局のラジオ局を通じて放送中です。ここでは、そのパーソナリティーを順を追って紹介中ですが、今回は関東地区FM東京と、北海道地区STVラジオのD.J.が登場します。

関東地区=FM東京 D.J.安達裕之



コンサート・ホールのあかりが落ちて、帳が静かに上っていく時のあの胸のときめき、夢中になってコンサートをエンジョイしている時。そして素晴らしい音楽に接した時の喜びをかみしめながらコンサート・ホールを去る時のあの気持……。そんな音楽の、そして生のステージの魅力にとりつかれたサウンズ・フレンドは沢山いるでしょう。実は僕もその一人なんです。

マジソン・スクエア・ガーデンで見たサイモン&ガーファアングルも、オランダシア劇場で見たジルベール・ベコも僕にとっても一生忘れ難い出来事といひとときでした。

若者の生活の一部となった音楽。その音楽に生のステージで、目で耳でそして肌で感じた時、その喜びはとも一息ではいい表わせません。

ラジオ番組サウンズ・ウィズ・コークは、より多くの皆さんの生のステージの持つ魅力を知って頂こうと思います。選りすぐった世界のトップ・アーティストの生のステージが「いつ」「どこで」楽しめるかを毎週最新情報とともにご紹介していきます。そして来日し

たアーティストとのインタビューなどを通して、彼等の音楽の魅力を探っていきたいと思っています。

FM東京のラジオ番組サウンズ・ウィズ・コークを聴けば、世界のトップ・アーティストのコンサートが、今週はそして来週はどこに行けば楽しめるかが、すぐわかり、FM東京のステレオ放送による音楽とアーティスト達の最新情報、魅力のポイントなど予備知識をもとにしていけば、一流アーティストの生のステージが「いつでも」「どこでも」楽しめるというプログラム、サウンズ・ウィズ・コークにしていけたらと思います。

音楽を愛する若者のキーワードは、サウンズ・ウィズ・コークなんです。

略歴=昭和18年8月16日生れ。慶応経済学部卒業後、ブルー・グラスの5線バンジョー・プレイヤーとして活躍、その後、日航に入社、退社後もフランス、アメリカ、スペインに合計3年間留学、これらの国々の言葉は支障なく話せる。

北海道地区=STVラジオ D.J.枝並國勝



来日アーティストは、毎月毎月ものすごい数が出てきますが、北海道にまで足を伸ばしてくるアーティストは、残念ながら今のところ少ないのが現状です。私たちも、ラジオを通じて、聴取者が一流のアーティストの来演を心待ちにしている様子が、よく判るのですが、なかなか私たちだけの力ではどうし



ようありません。

サウンズ・ウィズ・コークができて、日本でいまだどんなアーティストが来日している、どのような音楽が流行しているのかということが聴取者にも伝えられてき始めました。この番組が、一流アーティストの来演のきっかけ、起爆剤になればと、期待している一人です。

略歴=40年、立命館大学経済学部を卒業、同年STVに入社、現在に至る。趣味は野球とテニス。

MUSIC

Keep Japan Beautiful

ニュー・クリスティ・ミンストレルズがレコーディング。

美しい日本にするための全国的なキャンペーンKeep Japan Beautiful のテーマ曲を、ニュー・クリスティ・ミンストレルズがレコーディングしました。

ときは5月6日、東京目黒のバイオリン・スタジオ。ニュー・クリスティの面々は、アメリカに在る間にすでにこの曲とは対面済

Keep Japan Beautiful

SING ALONG WITH THE NEW CHRISTY MINSTRELS

Bright Country Medium

及川恒平 作詞
梅垣達志 作曲

ありふれた街から
ありふれた笑いが
聴こえるような
想う心を もう思い出せませんか

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
本当のことから
目を 外さずにいよう

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
私達だけの世界じゃないのです

②
競いあう生活は
競いあう空しささえ
忘れてしまう
想う心を もうなくしたのでしようか

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
本当のことから
目を 外さずにいよう

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
私達だけの世界じゃないのです

KEEP JAPAN BEAUTIFUL

Look around and open up your eyes.
Our world is smaller than you realize.
Step outside your own back door,
Walk on Mother nature's floor
And be sure you don't let livin' pass you by.

KEEP JAPAN BEAUTIFUL,
KEEP JAPAN BEAUTIFUL
The land is ours, and just like the stars
Was made for all men to share
KEEP JAPAN BEAUTIFUL,
KEEP JAPAN BEAUTIFUL
And then we'll all look up to find
skies of blue and sunshine everywhere.

みて、もうすっかりマスターしきっていて、関係者をびくりさせました。とくに日本語の歌詞をよくマスターして、英語の歌詞の方はまったく覚えていないというような、エピソードもありました。そんなわけで、レコーディングはすこぶる快調に進み、メンバーも最高の出来と、自我自讃し通してした。この曲は作詞・及川恒平、作曲・梅垣達志によるKeep Japan Beautifulのたんなるテーマ・ソングだけでなく、一般にもリリースしてヒットさせようという目的のもとに製作されました。近日ワーナー・バイオリンから発売されますので、みなさんもぜひ1枚お買求めのほどを。みなさんには、一足お先に歌詞と楽譜をご紹介します。

①
ありふれた街から
ありふれた笑いが
聴こえるような
想う心を もう思い出せませんか

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
本当のことから
目を 外さずにいよう

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
私達だけの世界じゃないのです

②
競いあう生活は
競いあう空しささえ
忘れてしまう
想う心を もうなくしたのでしようか

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
本当のことから
目を 外さずにいよう

Keep Japan beautiful
Keep Japan beautiful
私達だけの世界じゃないのです

KEEP JAPAN BEAUTIFUL

Look around and open up your eyes.
Our world is smaller than you realize.
Step outside your own back door,
Walk on Mother nature's floor
And be sure you don't let livin' pass you by.

KEEP JAPAN BEAUTIFUL,
KEEP JAPAN BEAUTIFUL
The land is ours, and just like the stars
Was made for all men to share
KEEP JAPAN BEAUTIFUL,
KEEP JAPAN BEAUTIFUL
And then we'll all look up to find
skies of blue and sunshine everywhere.

MOVIE

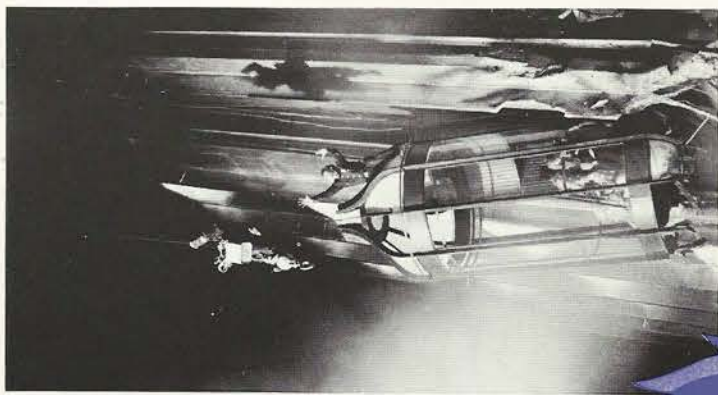
真由美のシネ・ガイド

●タワリング・インフェルノ
★お待たせしました! “タワリング・インフェルノ”。とにかく凄い話題。なにしろ、ワーナーとフォックスという2大メジャーが共同で製作したという前代未聞の映画。パニック映画の決定版/超豪華スター大共演/と派手に宣伝されているから、いやがおうにも期待がどんどん大きくなって、いざ見に行ってみると……驚き/ほんとおもしろいのです!



★まず信じられないことには、映画が始まったとたん、あっという間に火事発生/普通、こういう種類の映画というのは、登場人物やシチュエーションなどいろいろ説明があつてまわらしたところからスワ/事件発生となるのが定番なのに、度胆を抜かれちゃう。★次に驚いたのがフェイ・ダナウェイ。画面に現れるなりポール・ニューマンとのベツド・シーンだし、グラス・タワ・ビル completion パーティーには、これまた一瞬なんにも着てないのでは!?と目をパチクリさせてしまうほどのショッキング・ドレス登場。★次の驚きは、あのハンサム・ガイ、ロバート・ワグナーが、ひよいと出てきただけであっさり焼け死んでしまうこと。これには悲しむ余裕もない、ただボヤアン。

★そしていちばんの驚きはやはり、バカ高いグラス・タワ・ビル。ミニチュアをつくったときいたけど、そのミニチュアがあんなにでかいなんて/33メートルもあるんでして。33メートルの高さでもミニチュアというのでしようか。不思議な感じ。
★可哀想なのはリチャード・チェンバレン。悪役をなつた1人でひき受けて、ぶん殴ってやりたくなるほど憎たらしく大熱演。
★めっけものはスーザン・ブレイクリー。*コミッションナーへの報告”にも出てけれど、モデル出身特有のあのプロポーションの良さ*繊細な雰囲気、ぐっと印象を強く残します。
★設計士役のポール・ニューマンと消防士役のステイヴ・マックイーン、どちらがカッコよいかは、これは見えてはお楽しみ。もちろんそれぞれ見せ場はたっぷりです。
★オールド・ファンにはジェニファー・ジョーンズとフレッド・アステアの甘いシーンが涙もの。
★興奮が持続したまま、あれよあれよという間に2時間45分。スキップ腹でみると途中で身が軽くなるかも。年に1本はこういううてっかい映画、いいもんですね。



THE TOWERING INFERNO



レイ・ニコフ・シンガーの映画「ペーパー・タイガー」のサントラを担当。

東南アジアを舞台に繰り広げられる、今年夏から秋公開予定の日英合作大規模映画「ペーパー・タイガー」のサントラを、レイ・ニコフ・シンガーが担当することになった。日本人の少年、安藤一人君を中心に、デビッド・ニープン、三船敏夫、ハーディー・クリューガーなど、総たたる面々が出演して今年の映画界の話題が集中しそうな作品、「ペーパー・タイガー」に乞うご期待。



耳になじんだ曲がいっぱい聞けるという面白さ

佐野和子(KAZUKO SANO)

イージー・リスニングというジャンルが音楽界に登場してから久しい歌ですが、この2、3年の間に特だ広くなり、定義も変わってきたように思います。ポール・モーリア、レーモン・ルファエル、パーシー・フェリスら、いわゆるイージー・リスニングの先駆者達の日本での公演における観客は、大オーケストラの演奏による映画音楽のヒット曲の数々から満足します。

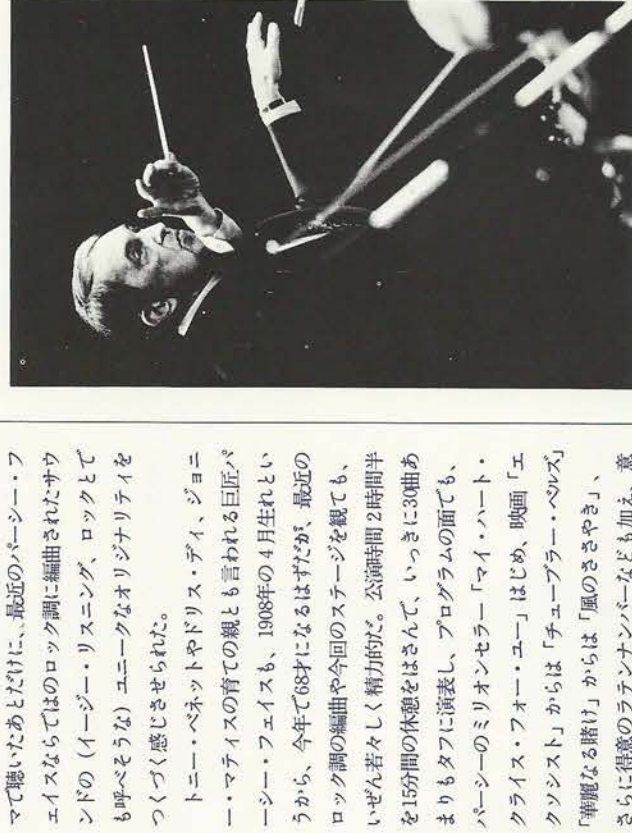
今年、レーモン・ルファエル・グラント・オーケストラが来日するそう、「シバの女王」が聴けると喜んでいる私ですが、その前に待望久しいレイ・コンフ・シンガーが初

CONCERT

NOW TGUTSなSOUNDを聴かせてくれた、今年のパーシー・フェイス・オーケストラ

ロック・オペラ「ジーザス・クライスト・スーパースター」のテーマ曲「スーパースター」のオーブニングナンバに続いて、今年「パーシー・フェイス・オーケストラ」は、今宵安らかに「熱心党シモン」「私はイエスカわらない」「彼らの心は天国に」と、このロック・オペラから続けて4曲が演奏された。

ことに「今宵安らかに」など、映画でマリア役を演じたイヴォンヌ・エリマンのステージを、昨年エリック・クラプトンの公演でナマで聴いたあたりに、最近のパーシー・フェイスならはのロック調に編曲されたサウンドの(イージー・リスニング、ロックとでも呼べそうな)ユニークなオリジナルテイをつくづく感じさせられた。



来日したことは、それ以上にうれしいことです。日本ではコーラス・グループのファンは私を含めて沢山います。プラザ・ス・フォー、レターメン等々のかなでる愛のメロディー、完璧なハーモニー、そしてナウなアレンジとしっかりと歌いあげるところは、肩のこらないリラックしたムードでコーラスを楽しめる意味で何となくもすばらしいことです。

コンサートに行ってもすばらしいことって、耳になじんだ曲がきけることです。レイ・ニコフ・シンガーのアルバムは、私も何枚かもっていますが、発売順に並べてみると、その当時のポピュラー界のヒットがわかるのはいかと思われほど、ヒット曲をすばらしいコーラスで演奏してくれているのです。「カーペンターズの世界」という私の大好きなアルバムがありますが、これもレイ・ニコフ・シ

ンガー自身のもとなつてはいます。サイモンとガーファナクル、ロバート・フラック、アルバート・ハモンド、そして次々と公開される映画音楽にと、飽きなきレイ・コニフの世界はひろがっています。イージー・リスニングの常識を打ち破るようなアルバムの中から、彼らが確立した、ハッピー・サウンズは今年の大きなブームによることでしょう。ロックに、ジャズに疲れたとき、針を置くレコードとしてレイ・ニコフ・シンガーは最適だと思えます。

カーペンターズはヤング用、ポール・モリアは大人用と、決めつけなくて、ヤングから大人まで幅広いファンを獲得できるレイ・ニコフ・シンガーの魅力をもう一度この目で、この耳で、このコンサートで、味わってみたいと思います。

WHO'S WHO IN WORLD POPULAR MUSIC



ニコル・クロワジル NICOLE CROISILLE
8才の時から語り始める一方、歌が大好きだった事から成長するにつれてジャズに興味を抱きはじめて、やがてコメディ・フランセを経てマルソンのパントマイムに参加。欧州各地及び南米を巡業しているうちに歌手としての才能も人々の注目を浴び、やがてアレルヤ・レコードから吹込んだ。又、ブラジル音楽祭にフランス代表として参加した経験もあり、その美貌とユニークな唱法は、今後の活躍が大いに期待されている。



ペレス・ブラード PEREZ PRADO
戦後のラテン音楽界における最大のスターは——といえ、何をいっても彼、ペレス・ブラードの名を挙げなければなりません。あの「マンボ・ジャンボ」や「マンボ第5番」などの、演奏に接して、アツと驚かされたのは、ついさきのうのように思いますが、あれから20年近くにもなります。今日でもなお公演のたびに新しい話題をふりまくりあのエネルギーッシュな活躍ぶりは、疲れを知らぬ超人、無尽蔵のアイデアの持主の感があります。



モリー・マクガヴァン MAUREEN MCGOVERN
本年度アカデミー賞で、2年前に「ボセイ・ドン・アドベンチャー」の主題歌「モーニング・アフター」に続き、「タワリング・インフェルノ」～愛のテーマでシンガーとして史上初の2度目の「主題歌賞」を受賞したモウリー・マクガヴァン。チャミングで美貌の特長であるマクガヴァンのストリートで説得力あるヴォーカルは多くの映画音楽ファンポップス・ファンを心をつかんでいる。これから大きく羽ばたく超大型シンガーである。



ヘレン・レディ HELEN REDDY
歌手としてだけでなく、女優としても「エポート75」でお目見えした彼女だが、幅広く、しかも充実した仕事ぶり。家庭では「厳格な母親」であろうとし、歌手としては「女性の社会的関連」を意識しているという、なかなかのインテリでもある。「私は女」「歌のある限り」「私はイエスがわからない」などを聴いても、重厚な表現力をもっている。ときどき、とてもベビーな感じがするが、活躍する女性歌手の中でも先陣を切っている。



レーモン・ルフェーブル RAYMOND LEFEVRE
「シバの女王」「哀愁のアダージョ」などが、とても長くファンの心をとらえてきたが、レーモン・ルフェーブルの話しぶりや指揮ぶりには、いかにもフランス人のエスプリみたいなものを感じさせられる。ポール・モーリアが決って秋の米田ならば、この人は前半にやってくる。もちろん本国でも高い評価を受けて、常時、オーケストラ活動をしているのだから、いまさらその実力のほどを、とやかくいうまでもあるまい。



7月来日決定!!
シスター・スレッジ SISTER SLEDGE
ハロー・シスター・スレッジ!! フィラデルフィア出身のシスター・スレッジは、ほんとうの4人姉妹。15才～20才までのほんとうに可愛い女の子達です。「初恋大作戦」の大ヒットで今や日本でも人気急上昇中です。アメリカではスリー・ディグリーズ、ポインター・シスターズを上回る有望株としてアトランティック・レコードが猛ブッシュ中です。今年最大のホープとしてダイナマイト的魅力的シスター・スレッジを宣しく。



ジョン・デンバー JOHN DENVER
ジョン・デンバーは自然の中に、あるいは自然とともに生きている。取材記者などは、ていよ追っ追わられるようだ。といって、それは人間嫌いでではなく、逆にとっても深く人を愛している。日本の多くの歌手、特にフォーク畑の人たちに、彼は神様のように尊敬されているが、神様になりたいなどは、これっぽっちも思っていないだろう。「バックホーム・アゲイン」こそ特に日本人にもびびりたくる彼の心情だ。



シャリー・バジュー SHIRLEY BASSEY
昨年の日本公演で、いまさらながらシャリー・バジューの素晴らしさに魅せられた人が少なくなかった。あまりにもビタリと決まる動きと、情熱のすべてを傾けたような表現で、これほどの歌唱を聴かせてくれる人は、そう多くはない。「愛に生きて」「サムシング・帰る来ぬ青春」「私の人生」など、何度聴いてもますます素敵と思わせるが、誰の、どんな曲を歌っても、それはもはやバジューの世界でなくなっていくのだ。

執筆者紹介



刈田元司(かりたもとし)さん サリンジャー、ソール・ペロー、ホーンなどアメリカ文学の翻訳が多数、アメリカ人のハッピーネスは、日本人に共通しているとのこと。



青木啓(あおきひろく)さん ビン・クロスビーが最近ロンドンで2枚のアルバムを録音したの報に、この74年のヴォーカルを早く聴きたいと毎日待つことしきり。



鈴木道子(すずきみちこ)さん 庭の花々が満開になる季節となり、その手入れに毎日時間を費やしています。音楽さいては、そちらの方が楽しい季節になりました。



岩永源弘(いわながひろ)さん 名刺にも紙袋にも、デカイ岩のマークをつけていて、名刺を忘れても岩のマークの人、と覚えてもらう仕掛けなんだろうと。



堀山三太(すずやまさん)さん おなじみサミー・デビスJrのCMを作った人。顔に似合わず「ザッツ・エンターテイメント」を見てオイオイと泣いてしまったという人。



吉田真由美(よしただまゆみ)さん 最近、映画界がにわかに状況を呈しはじめ、話題作が目白押しですが、業界とファンとを結ぶパイ役として忙しい毎日を送っています。



矢吹申彦(やぶきあひこ)さん その絵のような家に、可愛らしい奥さんと2人で住んでいて、どこに出かけるのも(仕事だって)いつも一緒なのは、有名な話です。



朝妻一郎(あさづまいちろう)さん 一見ポピュラー音楽のみ書いているかの印象をうけますが、国内の音楽状況にも評論家の中では一番精通している一人です。



滝井慎平(たきいしんぺい)さん フォトグラフィアの中で最も日本が一番忙しい人。この7月には五本巻の原作「変奏曲」をバリエーション豊富に撮影予定。最近は個展も多いようです。



小島良平(こじまよりへい)さん レイアウト担当。毎度、切れ味のいいデザインが好評です。デザイン以上に、デザインの才能で仲間と尊敬ならぬ歌をされています。



加藤しげき(かとうしげき)さん TBSラジオのディレクター仲間うちで、もっとも音楽好きといわれる加藤さん。とくにジャズっぽいところがお気に入りのようです。



佐野和子(さのかずこ)さん フリーのラジオ・ディレクターとして、とくにFMの番組を運営・構成しています。レイ・コニアのオン・エア率はバググンとのこと。

Love Sounds ★ Black Sounds

KYOTO TOKYO PRESENTATIONS '75

ダニエル・リカーリ

DANIELE LICARI



かつてフランス・レイ、レーモン・ルフェーブルと共に来日したダニエル・リカーリ。こんどは単身、スキヤット・ボーカルの真髓を聴かせてくれる。シャバ・ダバ・ダ…現代の嘯きと嘆息と倦怠を透明な声に乗せて。ダニエル・リカーリ

DANIELE LICARI

●東京公演

6月26日(木)7時開演 新宿・厚生年金ホール
7月4日(金)7時開演 中野サンプラザホール
A=¥2,500 B=¥2,000 C=¥1,500
ティーンズ・シート=¥1,000
ラブ・シート(2名様)=¥4,500

●広島公演

6月30日(月)6時30分開演 郵便貯金ホール

●福岡公演

7月1日(火)7時開演 福岡市民会館

●大阪公演

7月2日(水)7時開演 フェスティバルホール

●名古屋公演

7月3日(木)6時30分開演 愛知文化会館

ベンチャーズ

THE VENTURES



ロック・ミュージックの原点ベンチャーズ。彼らのダイナミックなサウンドは、つねに若者たちの間に熱い連帯のコミュニケーションを生んできた。ベンチャーズのいない夏を、キミは果して想像することができるだろうか。ベンチャーズ(15周年記念特別公演)

THE VENTURES

●宮崎公演

6月21日(土)6時30分開演 宮崎市民会館

●鹿児島公演

6月22日(日)2時開演 鹿児島文化センター

●島原公演

6月26日(木)6時30分開演 島原市民会館

●熊本公演

6月27日(金)6時30分開演 熊本市市民会館

●福岡公演

6月28日(土)6時30分開演 福岡市民会館

●長崎公演

6月29日(日)2時開演 長崎市公会堂

●東京公演

7月6日(日)・12日(土)各2時開演

新宿・厚生年金ホール

A=¥2,100 B=¥1,400

●横須賀公演

7月14日(月)6時30分開演 横須賀文化会館

ほか全国各地で公演!

ミッシェル・ポルナレフ

MICHEL POLNAREFF



歌を聞かせるだけでなく、見る要素をふんだんに盛り込んだ新しいタイプのコンサート。限りないロマンを求めて歌うポルナレフの華麗なステージ。いよいよ来日間近なポルナレフの一大スペクタクルショーに乞御期待。

ミッシェル・ポルナレフ
MICHEL POLNAREFF

●福岡公演

6月23日(月)6時30分開演 九電記念体育館

●大阪公演

6月25日(水)6時30分開演・7月6日(日)2時開演

大阪フェスティバルホール

●静岡公演

6月26日(木)6時30分開演 静岡市駿府会館

●東京公演

6月27日(金)・28日(土)各6時30分開演 日本武道館

A=¥2,500 B=¥1,500

●横浜公演

6月30日(月)7時開演 神奈川県民ホール

●長野公演

7月1日(火)6時30分開演 長野市民会館

●名古屋公演

7月3日(木)6時30分開演 名古屋市公会堂

●倉敷公演

7月5日(土)6時30分開演 倉敷市民会館

●仙台公演

7月11日(金)6時30分開演 宮城スポーツセンター

第3回ブルースフェスティバル

#3 BLUES FESTIVAL



第3回ブルース・フェスティバル
#3 BLUES FESTIVAL

来日メンバー

オーティス・ラッシュ

ジミー・ドーキンス・ブルース・バンド

ビッグ・ジョー・ウィリアムス

リトル・ブラザー・モンゴメリー

●東京公演

7月20日(日)5時開演・29日(火)6時開演

日比谷野外大音楽堂

A=¥2,000 B=¥1,500

●札幌公演

7月21日(月)6時開演 中島公園屋外ステージ

●広島公演

7月23日(水)6時30分開演 郵便貯金ホール

●福岡公演

7月24日(木)6時30分開演 電気ホール

●大阪公演

7月25日(金)6時30分開演 厚生年金ホール

●名古屋公演

7月26日(土)6時30分開演 名古屋市公会堂

●京都公演

7月27日(日)5時開演 円山公園野外音楽堂

●横浜公演

7月28日(月)6時開演 横浜公園野外音楽堂

キョードー東京1975年後半来日予定アーティスト

●ブラザーズ・フォア(8月)THE BROTHERS FOUR

●カーペンターズ(9月)CARPENTERS

●レーモン・ルフェーブル(9月)RAYMOND LEFEVRE

●ジョン・デンバー(10月)JOHN DENVER



●シャーリー・バスシー(10月)SHIRLEY BASSEY

●ヘレン・レディー(10月)HELEN REDDY

●ポール・モーリア(11月)PAUL MAURIAT

●ニニ・ロッソ(11月)NINI ROSSO

MUSICTHON

ミュージックソン。豊かな人生、豊かな社会へ向ってのマラソン音楽運動。

MUSICTHON(ミュージックソン)

MUSICTHONとは——人生はマラソンのようなものです。音楽運動もマラソンと同じように長期展望計画によって行なうべきです。MUSICTHONとはMUSIC(音楽)とMARATHON(マラソン)を合わせた新合成語です。キョードー・グループでは、たんに音楽興行を全国的レベルで催すだけでなく音楽を通じて皆さんと一っしょにKEEP JAPAN BEAUTIFULのキャンペーンを同時にプロモートしていきます。それによって音楽に興味をもたせ、音楽がもつ生命力を社会に連結させていくのです。スタートは小さなものかもしれませんが、ワン・ステップずつ、皆さんといっしょに長い行程を歩みながら、豊かな人生、豊かな社会に向けて旅立ちましょう。

キョードー東京 TEL.03-407-8155

キョードー大阪 TEL.06-344-0412

キョードー横浜 TEL.045-251-1861

キョードー札幌 TEL.011-521-6531

キョードー北陸 TEL.0762-32-2208

Sounds with Coke

TRADE MARK REGD.

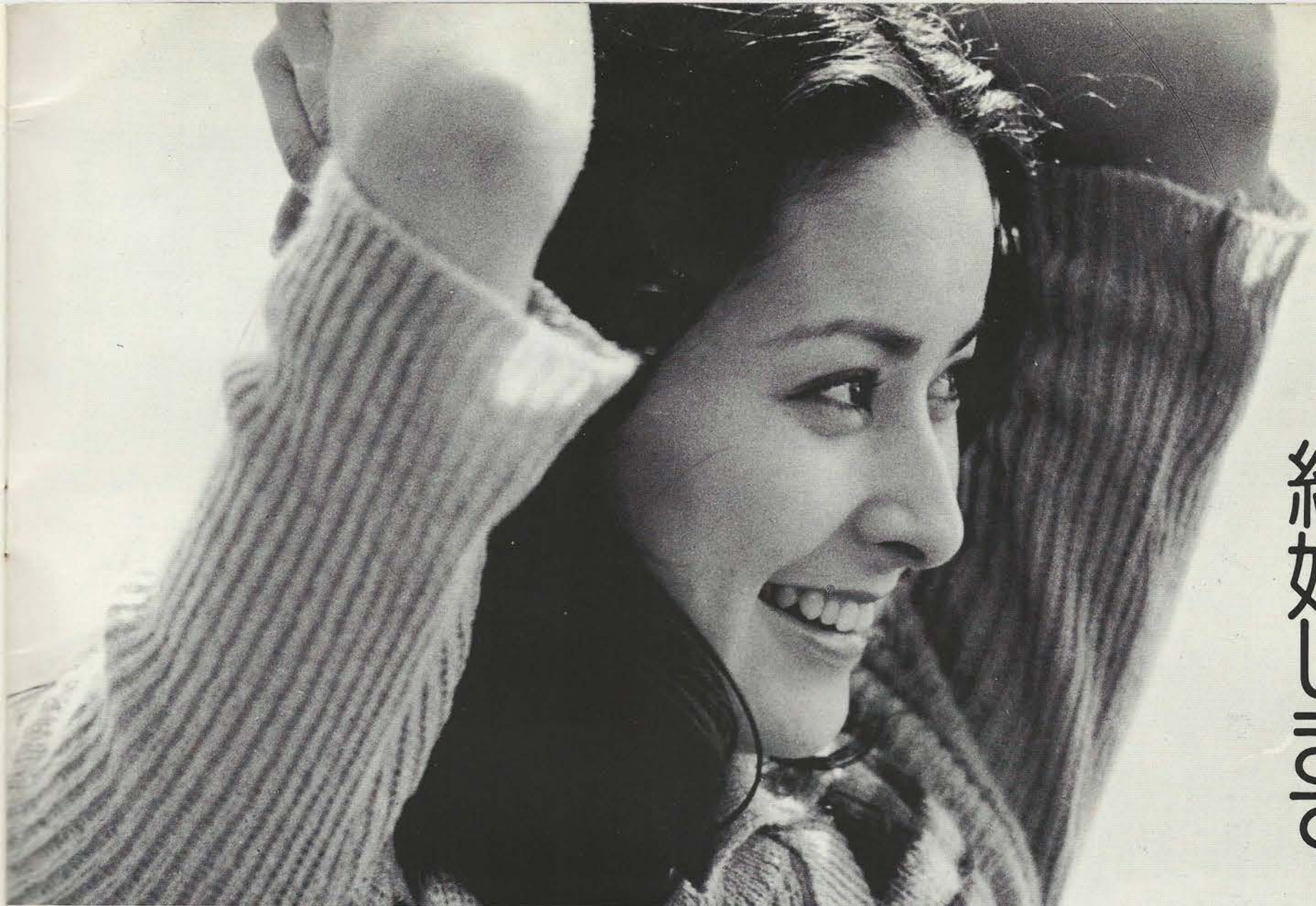
全国33局が皆様へ来日アーティストを中心にしてお贈りする新番組登場!!



局名	曜日	時間	スタート日
北海道放送 HBC	日曜日	10:00~10:30	4/13より
札幌テレビ放送 STV	土曜日	21:30~22:00	4/12より
青森放送 RAB	日曜日	13:00~13:30	4/13より
岩手放送 IBC	土曜日	21:30~22:00	4/5より
秋田放送 ABS	日曜日	9:30~10:00	4/6より
東北放送 TBC	日曜日	11:30~12:00	4/6より
山形放送 YBC	土曜日	23:30~24:00	4/5より
ラジオ福島 RFC	土曜日	23:00~23:30	4/5より
東京放送 TBS	月曜日	21:00~21:30	4/7より
ニッポン放送 LF	土曜日	22:30~23:00	4/12より
新潟放送 BSN	土曜日	23:20~23:50	4/5より
信越放送 SBC	日曜日	11:30~12:00	4/6より
山梨放送 YBS	日曜日	10:00~10:30	4/6より
静岡放送 SBS	日曜日	11:30~12:00	4/6より
F M 東京	木曜日	16:00~16:30	4/3より
北日本放送 KNB	日曜日	8:30~9:00	4/13より
北陸放送 MRO	日曜日	12:20~12:50	4/6より

局名	曜日	時間	スタート日
朝日放送 ABC	土曜日	21:15~21:45	4/12より
和歌山放送 WBC	土曜日	22:15~22:45	4/5より
山陰放送 BSS	日曜日	12:30~13:30	4/13より
山陽放送 RSK	日曜日	14:00~15:00	4/13より
中国放送 RCC	日曜日	12:00~13:00	4/13より
山口放送 KRY	日曜日	12:00~13:00	4/6より
四国放送 JRT	土曜日	22:10~22:40	4/5より
南海放送 RNB	日曜日	13:00~13:30	4/6より
西日本放送 RNC	土曜日	23:00~23:30	4/5より
高知放送 RKC	土曜日	22:00~22:30	4/5より
九州朝日放送 KBC	土曜日	23:35~24:05	4/12より
F M 福岡	日曜日	9:00~9:55	4/6より
熊本放送 RKK	土曜日	23:30~24:00	4/12より
南日本放送 MBC	日曜日	14:00~15:00	4/13より
琉球放送 RBC	土曜日	22:30~23:00	4/12より
極東放送 KHR	日曜日	11:00~11:55	4/6より

提供=コカ・コーラボトラーズ



結婚しあふ

ジャルパックで挙げる

いよいよ、ですね。ジャルパックが用意した今年のハネムーン。代表的なコースをご紹介します。出発日は大安に限らず毎日出発。ホテルや現地でのお世話なども万全の手配をしてあります。さあロマンチックな海外で、思いきり彼に甘えて、幸せをつかんでいらっしやい。

おふたりでご相談を(価格はおひとりの価格です)

JOYハワイ6日間アロハ・コース(毎日発)……
……………192,000円
スイート・ハワイ6日間ハネムーン・コース…
(毎日発。7・8月は毎週発)……………251,000円
スイート・グアム・サイパン5日間ハネムーン・
コース(毎日発)……………161,000円

マイプラン・サンフランシスコ6日間……………
(6月を除く毎月発)……………234,000円
スイート・サンフランシスコ6日間ハネムーン・
コース(9~11・51年1~3月発)……343,000円
スイート・バンクーバー・メキシコとサンフラ
ンシスコ8日間ハネムーン・コース……………
(7・8・12月を除き毎月発)……………453,000円
マイプラン・パリ9日間(10月まで毎月発)………
……………325,000円
スイート・ヨーロッパ9日間ハネムーンコース
(10月まで毎月発)……………421,000円
スイート・香港・マカオ4日間ハネムーン・コ
ース(10・11・51年1~3月発)……166,000円
スイート・バリ島と香港7日間ハネムーン・コ
ース(6・10・11・51年2・3月発)……305,000円

挙式も海外でとおっしゃるカップルに
スイート・ハワイ6日間ウエディング・コース…
(毎日発。7・8月は毎週発)……………283,000円
スイート・ハワイ7日間ウエディング・コース…
(毎週発)……………316,000円
スイート・サンフランシスコ6日間ウエディン
グ・コース(7・8・12月を除き毎月発) 373,000円
JOYグアム4日間〈A〉(毎日発) ……115,000円
(ご希望の方はグアムで挙式できます)

●価格中、航空運賃部分については政府認可申請中です。

ハネムーンナーのための
JALPAK  日本航空



特別企画 ヨーロッパ バカンス ツアー

ポール・モーリアと共に!

期間：昭和50年7月19日(土)～7月31日(木)《13日間》

費用：¥398,000.—(毎3食付)

恋はみずいろ、エーゲ海の真珠、
ゴッドファーザー～愛のテーマをはじめ
数々の美しいヒット曲でおなじみの
ポール・モーリア氏があなたの休日
を忘れがたいものとするでしょう!
ロマンのパリでポール・モーリアと夢のデート!!
恋の都ローマでカンツオーネ!!
情熱の都マドリッドでフラメンコを!!

Bonjour, mes chers amis japonais!

Paris n'est pas seulement une ville merveilleuse pour les français,
mais aussi pour tous les étrangers qui aiment la musique.

C'est la ville des chansons.

Quand il fait beau à Paris, on chante des chansons gaies……

J'aime Paris. Paris sera toujours la ville de la lumière et

de la jeunesse. J'espère vous voir bientôt à Paris.

Paul Mauriat



お申込み・お問合せは……

〒100 東京都千代田区丸の内1-6-4

日本交通公社 海外旅行本社内支店

営業4課 福村グループ(ニッポン放送ツアー係)

TEL: 東京 03-211-1643 (直通)

旅行取扱主任者: 岡田 一

主催： **日本交通公社**
(運輸大臣登録一般旅行業第64号)

企画：**ニッポン放送事業部**

後援 **キョードー東京**

協力：**日本フォノグラム株式会社**

爽やかな愛のハーモニー 陽気でハッピーな レイ・コニフ・シンガーズ。



来日記念盤

さえわたるアレンジ、磨きのかかったハーモニー/
レイ・コニフ・シンガーズが爽やかに歌う最新ヒット集

雨に微笑を 哀しみのマンデイ



SOPN-125 ¥2,400 絶賛発売中!

SIDE:A

雨に微笑を
愛の告白
サンダウン
アンジー・ベイビー
哀しみのマンデイ

SIDE:B

そよ風のバラード
エレス・トウ
ゆりかごの猫
愛のためいき
二人のきずな

ゴールデン・ダブル・シリーズ レイ・コニフ・シンガーズのすべて

曲目: イエスタデイ・ワンス・モア/エンターテイナー/追憶
他全24曲

来日記念盤 SOPW-37-38 ¥3,800 2枚組 絶賛発売中!



珊瑚礁の彼方/ハワイアン・スタイル

曲目: ブルー・ハワイ/真珠貝の歌/珊瑚礁の彼方 他全11曲

SOPN-126 ¥2,400 絶賛発売中!

エンターテイナー

曲目: エンターテイナー/イン・ザ・ムード/嘘は罪 他全11曲

来日記念盤 SOPN-111 ¥2,400 絶賛発売中!



イエスタデイ・ワンス・モア

曲目: イエスタデイ・ワンス・モア/カリフォルニアの青い空/
やさしく歌って 他全12曲

SOPM-81 ¥2,300 絶賛発売中!

カーペンターズの世界

曲目: イエスタデイ・ワンス・モア/愛は夢の中に 他全12曲

SOPM-129 ¥2,300 絶賛発売中!



思い出のフォトグラフ

曲目: 朝やけの少女/追憶/思い出のフォトグラフ 他全11曲

SOPM-112 ¥2,300 絶賛発売中!

ライブ・アット・サハラ/タホー

曲目: ラブ・ミー・トゥナイト/マック・ザ・ナイフ/ララのテーマ
他全21曲

SOPW-15-16 ¥3,800 絶賛発売中!



ニュー・ゴールド・ディスク・シリーズ レイ・コニフ・シンガーズ

曲目: エンターテイナー/サンシャイン/明日に架ける橋
他全14曲

SOPO-46 ¥2,500 6月21日発売!



来日記念盤

東宝東和提供: イギリス映画「ペーパー・タイガー」サウンド・トラック盤 SOPB-315 ¥500 6月21日発売!



H A P P I N E S S I S M U S I C

MUSACTHON

ミュージックソン。豊かな人生、豊かな社会へ向ってのマラソン音楽運動。